

29-103

音樂指南

明治十七年四月印行



文
部
省

音樂指南

例言

本書ハ米國波士敦府小學唱歌ノ監督前文部省雇教師ルーゼ
 ルホワイナング、メーソン氏二十餘年間ノ經驗ニ由リ一千八
 百七十二年ニ至テ著述シタル唱歌教授法ニ基ヅキ其主旨ハ
 小學教員ヲシテ少年生徒ニ單音唱歌ヲ教授セシメントスル
 ノ一助ニ供スルモノナリ、其載スル所口授唱歌ヨリ諸調唱歌
 ノ細目ニ至ルマテ順次期ヲ逐ヒ級ニ隨ヒ其要目ヲ網羅シテ
 遺ス所ナシ簡便ノ法ヲ得タリト云フベシ今余自ラ拙劣ヲ顧
 ミズシテ其翻譯ニ從事セリ其練習歌曲ノ如キハ專ラ文部省

音樂取調掛編纂唱歌集初編、第二編及第三編ヲ引用シ其疑義ハ著者メーソン氏ニ就テ親シク之ヲ質問シ且又本掛諸員ノ檢閲校訂ヲ經テ漸ク完成スルニ至リタルモノナリ其行文ノ如キハ或ハ原文ノ位置ヲ轉換シ或ハ譯語ヲ増減シ務メテ其意ノ達スルヲ主トシ以テ此書ノ本旨ニ負カザラントス讀者幸ニ咎ムルコト勿レ

明治十六年七月

譯者識

音樂指南

目次

音樂教授ノ初歩

第一章

唱歌ノ音聲

第二章

唱音口授ノ目的

第三章

唱音口授ノ方法

第四章

唱歌ノ口調

第五章

唱音口授ノ初教

音樂教授法

第一教

長短音ノ初歩

長短音ノ第二步

第二教

小節區分ノ思想ヲ開發スル方法

第三教

小節區分法ノ續

第四教

長短二種ノ休止

第五教

音階ノ教授法

第六教

譜表ノ教授法〔視覺法〕

第七教

(ト)字記號及ビ其音階ニ就キテノ六音ノ教授法

音階高度ノ説明

生徒ノ既ニ學習シタル教課ノ再閲

第八教

唱符ノ習學

反覆記號

唱音強弱ノ差別

第九教

前教實地ノ練習

第十教

音階三音度ノ教授法

音階四音度ノ教授法

高度ノ思想ヲ興起セシムル口述

第十一教

三拍子即チ奇數小節ノ豫教

第十二教

2[フ]3[ミ]轉唱ノ教授法

第十三教

連結ノ教授法

第十四教

四分ノ四拍子ヲ以テ成ル小節及ヒ其符號名稱ノ教授法

第十五教

拍子ヲ拍タシムル教授法

拍子ヲ拍タシムヘキ体格

第十六教

始初五音度ノ豫教

第十七教

輪唱ノ教授法

第十八教

一拍子二音ノ教授法

第十九教

三拍子ヲ以テ成レル小節ノ拍子ヲ拍タシムル教授法

第二十教

音階六音度ノ教授法〔唱歌集初編第十三曲見渡セハ〕ヲ用

フ

第二十一教

一拍子ニ一八分符ヲ數フル教授法〔唱歌集第二編第三十

五曲霞カ雲カヲ用フ

第二十二教 〔唱歌集第二編第三十六曲年立ッ今朝〕ヲ用フ

六拍子ヲ以テ成レル小節ノ教授法

第二十三教

音階ノ再教

第二十四教

附點四分符ノ教授法〔霞カ雲カ〕ノ曲ヲ用フ

第二十五教

(ハ)ノ調ニ在ル中央及ヒ上下音階ノ教授法

第二十六教

上階及ヒ下階ノ教授法〔相當ナル教課ヲ與フ〕

第二十七教

上行半音階ノ教授法〔黑板ニ音階圖ヲ記ス〕

第二十八教

下行半音階ノ教授法

第二十九教

(ト)調音階即チ嬰(ハ)ナル高度ノ教授法

第三十教

三部輪唱ノ教授法(ト)調ニ於ケル相當ノ教課ヲ黑板ニ記ス

第三十一教

(ハ)調音階ニ於ケル變(ロ)調ノ教授法〔唱歌集初編第二十一

曲若紫ヲ用フ

第三十二教

唱歌ノ教授法〔唱歌集第二編第三十五曲霞カ雲カヲ用フ〕

第三十三教

(ニ)調音階ニ於ケル嬰(ハ)調ノ教授法〔唱歌集初編第三十二曲五常ノ歌ヲ用フ〕

第三十四教

反始及ヒ終止兩記號ノ教授法〔唱歌集初編第十三曲見渡セハヲ用フ〕

第三十五教

變(ロ)調ノ音階ニ於ケル變(ホ)調ノ教授法〔相當ナル變(ロ)調

ノ教課ヲ黑板ニ記ス

第三十六教

(イ)調音階ニ於ケル嬰(ト)調ノ教授法[唱歌集第二編第四十二曲「サナガラ山」ヲ用フ]

第三十七教

變(ホ)調音階ニ於ケル變(ロ)調ノ教授法及ビ延聲記號[相當ナル教課即チ「トク行ケ國ノ爲メ」ノ如キ曲ヲ黑板ニ記ス]

第三十八教

(ホ)調音階ニ於ケル嬰(ニ)調ノ教授法相當ナル教課ヲ黑板ニ記ス

第三十九教

四分ノ三拍子ニ於ケル附點四分符ノ教授法

第四十教

變(イ)調ノ音階ニ於ケル變(ニ)調ノ教授法相當ナル教課即チ「イツシカ雪モ」ノ如キ歌曲ヲ黑板ニ記ス

第四十一教

雜課練習ノ教授法[唱歌集第二編及ビ第三編中ノ歌曲ヲ用フ]

音樂指南目次畢

音樂指南

エル、ダブリュー、メーソン 著

内田 彌一 譯

音樂教授ノ初歩

第一章

唱歌ノ音聲

凡ソ音樂教師ノ主務トスル所ハ先ツ幼稚生徒ノ音聲ヲ聽察シ屢
々之ヲ查檢シテ若シ其音律ニ適セザル者アラハ速ニ之ヲ改良シ
或ハ父母ノ愛寵ニ狎レテ幼兒ノ常ニ訛言スルヨリ自ラ發聲律ヲ

誤ルコトアルモ直ニ之ヲ樂正シテ以テ音律ニ適セシムルニ在リ
余屢々兒童ノ未ダ音調ヲ知ラズシテ暴音ヲ發スルヲ聞ケリ此ノ
如キハ音樂教師ノ最モ禁ズベキ所ニシテ師ノ之ヲ教フルニ善ク
意ヲ其教方ニ用ヒハ幼兒ヲシテ容易ニ樂音ト諫音トノ差ヲ識別
セシムルニ至ルベシ或ハ然ラザルモ樂音ヲ學ヒ修メントスルノ
志念ヲ生ゼシムルニ至ラン所謂樂音ト諫音トニ於ケル差異ノ甚
シキヲ証センカ爲ニ他物ニ比シテ之ヲ譬フレバ樂音ハ其音容恰
モ銀鈴ノ鏘々タルニ等シク諫音ハ陶磁ノ碎裂スルニ似タリト云
フベシ

幼兒生徒ニ唱歌ノ音聲ヲ教授セントスルニ當リテ教師ノ宜シク
注意スヘキ條目左ノ如シ

第一、音律ノ性質 音律ノ性質ハ爽朗婉美ニシテ發聲ニ障妨ナク
殊ニ其呼吸久シキニ堪フルヲ要ス
第二、音律ノ勢力 音律ノ勢力ハ強張スルニ至ルコトナク又微弱
ニシテ喘聲ニ等シキニ至ラザルヲ要ス
第三、學習ノ時間 生徒ノ音聲ヲ疲勞セシメザルヲ要ス、凡ソ唱歌
ノ教授ハ生徒ノ好ミテ唱歌セントスル時間ヲ適度トシ決シテ身
體ニ勞ヲ生シ或ハ心中ニ飽クコトヲ覺エシメザルヲ可ナリトス
第四、音聲ノ區域 始メテ幼兒ニ唱歌ノ課ヲ授ケントスルニ當リ
テハ先ヅ教フルニ高低極度ノ兩音ヲ除キテ中音ヲ用フルヲ可ト
ス譜モ亦務メテ簡易ナルモノヲ採擇シ兒童ヲシテ發聲シ易カラ
シムベシ

第二章

唱音口授ノ目的

唱音口授ノ目的トスル所ハ第一生徒ノ耳覺ヲ聰ニシ音聲ヲ艶ニシ以テ音樂ノ風韻ヲ會得セシムルト第二ハ生徒ヲシテ他日音樂ノ學業ヲ修ムルノ基礎トナルヘキ事項ヲ習得セシムルトニ在リ上ニ謂フ所ノ目的ヲ達スルニハ決シテ許多ノ唱歌ヲ教フルヲ要セズ却テ其曲數ノ少キニ益アレバ其精選シタルモノ凡ソ十二曲内外ニシテ足レリトス然レモ師ノ之ヲ教フルニ注意スベキハ固ヨリ論ヲ待タザル所ニシテ其音聲調子、拍子、詞韻等モ亦皆務メテ明瞭ナラシムベシ日耳曼國一博士ノ語ニ曰ク凡ソ人ハ業ニ秀ツルハ能ク之ヲ練習復スルニ在リト然ルモハ唱歌ノ業ニ於ケル

モ亦常ニ之ヲ練習復スルヲ要ス而シテ師ノ幼稚ヲ教授スルモ其曲ニ練熟シテ歌聲正爽婉美ナル時ハ兒童ノ心中ニ生ズル所ノ思想モ亦之ニ隨テ精良ナルニ至ルヘシ

生徒ヲシテ其耳覺ヲ聰ナラシメ音樂ノ風韻ヲ教養センニハ屢熟練精良ナル奏樂ヲ聽聞セシメ以テ其音律及ヒ旋律ノ美妙ナル部分ヲ示諭シ奏樂了リテ後師更ニ生徒ニ就キテ其奏樂中何ノ部分ヲ以テ快愉ナリト思考セシヤヲ試ミ問フヘシ是レ生徒ヲシテ此科業ヲ進歩セシメントスルノ一助トナルモノナリ

生徒ニ和聲ノ感覺ヲ興サシメ自ラ獨立シテ其唱フ所ノ部分ヲ保持セシメンニハ唱音口授ニ加フルニ樂器ヲ以テスルヲ善シトス然レモ其樂器ノ用法タル唱歌ニ從屬スルノミニシテ時々快活ニ

至ルト雖モ決シテ唱歌ノ先導トナラシムルコト勿レ且ツ之カ爲
 ニ其音聲ヲ強ヒテ長引スルニ至ルカ如キハ最モ慎ムヘキ所ノモ
 ノタリ
 余カ音樂ノ教師タル者ニ向テ唱音口授ノ事ニ篤ク注意セラレン
 コトヲ望ムハ全ク前條ニ云フ所ノ如ク正シク之ヲ用フルキハ實
 ニ音樂課業ノ基礎トナルヲ以テナリ例ヘハ普通ノ讀方ニ於テ幼
 兒ハ既ニ聽習セシ所ノ語ノミヲ始メテ學フカ如ク視唱ニ於テモ
 亦若干ノ音樂語ヲ聽熟シ而シテ後始メテ書中或ハ圖上ニ之ヲ識
 別スルヲ學フヘシ

第三章

唱音口授ノ方法

唱音口授ノ教法ヲ施行セントスルニ方リテ其緊要トスベキ條件
 ニアリ即チ左ノ如シ

- 第一 音聲ノ高度及ビ區域
 - 第二 教課及ビ歌曲ノ口調
- 音聲ノ高度至良ナル獨逸ノ方
 法ニ據レハ(ト)調ノ五音ヨリ始
 ム即チ左ノ如シ



此高度ヨリスル時ハ實
 際上其功益アルヲ左ニ
 示スガ如シ
 第一 此高度ハ皆胸音
 ノ上ニ位スルヲ以テ兒
 童ニ害アル其胸音ヲ避
 シルノ益アルヲ甚ダ多

ソトス

第二 此五音ハ兒童ノ天性爽朗ニ發聲
シ得ベキ調格ニシテ且ツ其高低ノ如キ
モ音律ノ中央ニ位スレハ稱シテ之ヲ總
調格ノ支點ト名ヅクルモ亦可ナランカ
故ニ兒童ノ此區域中ノ音律ヲ婉美ニ修
メ終レハ更ニ高調ナル(ホ)一音ヲ加ヘ
又低調ナル(ヘ)一音ヲ増シテ以テ之ヲ
八歳以内ノ兒童ニ授ケバ其成績必ズ驚
クベキモノアルニ至ルベシ



第三 上ニ示セルモノハ幼稚ニ唱歌ヲ教授スル最良完全ナル音
聲ノ區域ト稱スヘシ
幼稚能ク此區域ノ音聲ニ
練熟シテ十曲乃至十二曲
ノ唱歌ヲ歌フコト自在ナ
ルニ至ラハ更ニ左ニ示ス
カ如ク其區域ヲ廣ムルヲ
得ヘシ

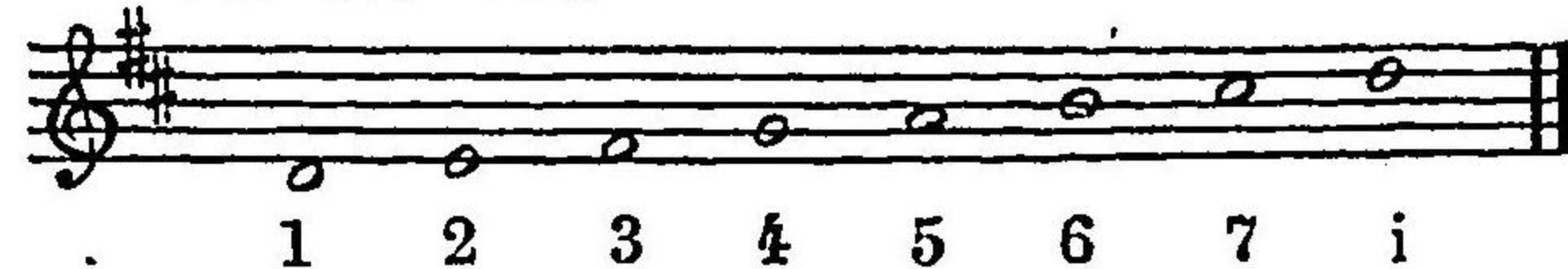
第一(ト)調ニ於テ(ニ)マテ下ル



第二(ヘ)調ニ於テ(ハ)マテ下ル



第三(ニ)調ノ全体



右ニ指示セル方法ハ決シテ成年生徒ノ練聲ニ供スベキモノニ非

第四 嬰(♯)調



第五 (♯)調ノ全体



第六 (♭)調ノ全体



第七 (♭)調ニ於ケル十音



ス是レ唯幼稚ノ發聲ニ障害ヲ生ズルノ弊ヲ防ギ而シテ其天性ノ音聲ヲ發唱セシメントスルノ目的ニ出ヅルナリ

第四章

唱歌ノ口調

凡ソ兒童ノ性タル幼稚ニシテ單語スラ未ダ悉ク之ヲ詳解スル能ハザルモ二三ノ語ヲ併セテ之ヲ一句トスレバ果シテ能ク其意ヲ解スルモノナリ是レ他ナシ此ノ如ク二三ノ語ヲ併セテ一句トスレハ自ラ其意趣ノ心ニ感スル所アルニ因ルナリ故ニ音樂ニ於テモ亦必ズ最初ニ於テ一大節ノ唱歌ヲ以テセズンバ有ルベカラス且ツ所謂唱歌ノ句節ナレハ音旋完全ニシテ口調モ亦雅馴ナルハ敢テ言ヲ俟タサル所ナリ是レ則チ兒童ヲソ夙ク音樂ノ音樂タル意趣ヲ感覺スル思想ヲ發動セシメントスルノ目的ニ出ヅレハナリ

ス是レ唯幼稚ノ發聲ニ障害ヲ生ズルノ弊ヲ防ギ而シテ其天性ノ音聲ヲ發唱セシメントスルノ目的ニ出ヅルナリ


第四章

唱歌ノ口調

凡ソ兒童ノ性タル幼稚ニシテ單語スラ未タ悉ク之ヲ詳解スル能ハザルモ二三ノ語ヲ併セテ之ヲ一句トスレバ果シテ能ク其意ヲ解スルモノナリ是レ他ナシ此ノ如ク二三ノ語ヲ併セテ一句トスレハ自ラ其意趣ノ心ニ感スル所アルニ因ルナリ故ニ音樂ニ於テモ亦必ズ最初ニ於テ一大節ノ唱歌ヲ以テセズンバ有ルベカラス且ツ所謂唱歌ノ句節ナレハ音旋完全ニノ口調モ亦雅馴ナルハ敢テ言ヲ俟タサル所ナリ是レ則チ兒童ヲ夙ク音樂ノ音樂タル意趣ヲ感覺スル思想ヲ發動セシメントスルノ目的ニ出ヅレハナリ


音樂ノ意趣ニ感覺ヲ起スハ幼稚ノ天性ノ致ス所ナレハ之ヲ教授スルノ目的ハ唯其感覺ヲ催誘セントスルニ過キサルナリ故ニ其唱歌ノ詞ハ務メテ幼心ニ適スルモノヲ以テスヘシ然ラサレハ却テ感覺發起ノ念ヲ壓閉シ之カ爲ニ大ニ進歩ノ妨害ヲ生スルニ至ラン今マ試ニ兒童ニ施ス最モ簡易ナル樂譜ノ二三ヲ解析シテ其理ヲ詳ニセントス但シ左ニ載スル樂譜ハ一般普通ノモノニシテ一段落ノ旋律皆八小節ヨリ成ルヲ知ルヘシ

第一 小 節



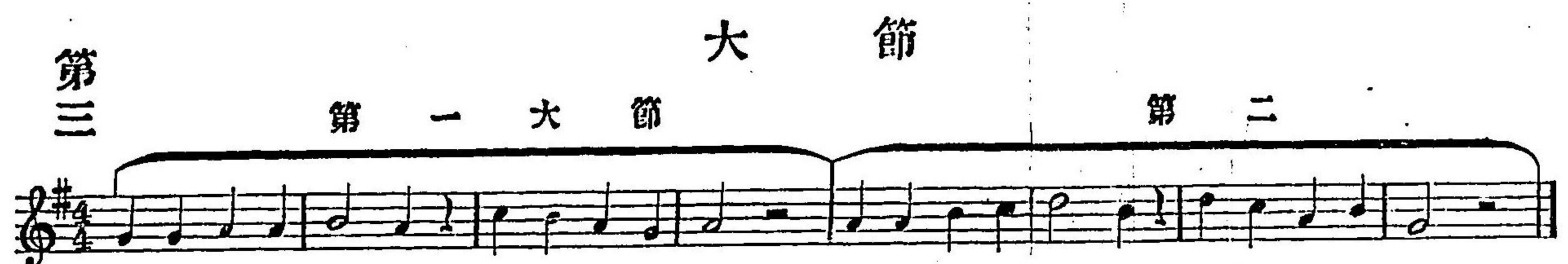
第一小節 第二 第三 第四 第五 第六 第七 第八

第二 中 節




第一中節 第二 第三 第四

第三 大 節



第一大節 第二

第四 段 落

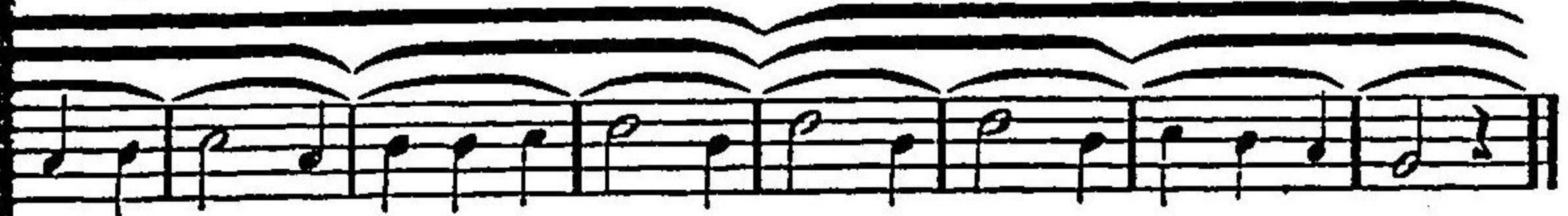


幼生ニ始メテ旋律ヲ教授センニハ上ニ掲ケシ第一譜ノ小節ヲ以テスルヨリ第二譜ノ如キ中節ヲ使用スルヲ最モ適セリトス是レ他ナシ幼稚ハ少ナクトモ二小節以上ヲ連合スルニ非レハ其運動ヲ感スル能ハサルニ因ルナリ此ノ如ク先ツ教フルニ中節ヲ以テスルコト數回ナル時ハ幼稚モ亦能ク其旋律ヲ會得シ大節ニ移ルモ容易ニシテ終ニ全曲ヲ歌ヒ得ルニ至ルヘシ

左ニ示スカ如キ三拍子ノモノハ稍々其難キヲ見ル故ニ之ヲ教フルニ當リテ教師ハ善ク意ヲ用フルニ非レハ初學生徒ノ之ヲ會得スルニ果シテ困難ナルヲ覺ユヘシ

第三大節

第二大節



第二大節



此二曲ノ旋律タル之ヲ歌フニ各一小節ニ分解シ其強聲ヲ附スルモ亦其小節ノ初首ニ於テスル時ハ其兩調稍相似タルモノ、如シト雖モ若シ其中節ニ隨ヒテ之ヲ歌フハ其調大ニ異ニシテ兒童ト雖モ猶ホ其差異ヲ感スルニ至ルベシ是レ甲ノ中節ハ二小節ヲ以テ成リ乙ノ中節ハ

幼生ニ始メテ旋律ヲ教授セシニハ上ニ掲ケシ第一譜ノ小節ヲ以テスルヨリ第二譜ノ如キ中節ヲ使用スルヲ最モ適セリトス是レ他ナシ幼稚ハ少ナクトモ二小節以上ヲ連合スルニ非レハ其運動ヲ感スル能ハサルニ因ルナリ此ノ如ク先ツ教フルニ中節ヲ以テスルコト數回ナル時ハ幼稚モ亦能ク其旋律ヲ會得シ大節ニ移ルモ容易ニシテ終ニ全曲ヲ歌ヒ得ルニ至ルヘシ

左ニ示スカ如キ三拍子ノモノハ稍々其難キヲ見ル故ニ之ヲ教フルニ當リテ教師ハ善ク意ヲ用フルニ非レハ初學生徒ノ之ヲ會得スルニ果シテ困難ナルヲ覺ユヘシ

フルヲ要ス



此二曲ノ旋律タル之ヲ歌フニ各一小節ニ分解シ其強聲ヲ附スルモ亦其小節ノ初首ニ於テスル時ハ其兩調稍相似タルモノ、如シト雖モ若シ其中節ニ隨ヒテ之ヲ歌フキハ其調大ニ異ニシテ兒童ト雖モ猶ホ其差異ヲ感スルニ至ルベシ是レ甲ノ中節ハ二小節ヲ以テ成リ乙ノ中節ハ三小節ヲ以テ成ルニ因テナリ是ニ於テ初メ唱歌教授ノ際專ラ中節ヲ以テスル所以ヲ知ルヘシ

又左ニ示スカ如キ口調ノモノアリ之ヲ教フルニ方リテハ最モ教師ノ意ヲ用

第一大節

第二大節



此例ニ就テ見ルハ口調ニヨリテ區分ヲ立
ツルノ便益アルヲ知ルヘシ何トナレハ一進
動ヲ成立スルモノハ必シモ一小節ト一致セ
ザルヲ以テナリ
此ノ如ク歌曲ヲ分析スルハ其見ル所稍無益
ニ属スルカ如シト雖モ決シテ然ラス苟モ教
師タル者之ヲ實際上ニ使用セバ始メテ其運
動ノ婉妙ナルヲ他ノ方法ヲ以テ之ヲ得ヘカ
ラザル所アルヲ悟ルヘシ

第五章

唱音口授ノ初教

凡ソ音樂教師タル者ハ生徒ニ教授スヘキ歌曲ト其教課トニ十分
熟練シ而シテ後ニ左ニ示スカ如キ順序ニ隨ヒテ逐次ニ教授ヲ施
スヘシ

師問 此教場ニ在ル生徒中唱歌ヲ學ハント欲スル者幾許ナリヤ
〔此時生徒等皆手ヲ揚ク〕

師云 然ラハ汝等余カ顔面ニ着目シテ余カ唱歌スルヲ聽キ而シ
テ後ニ余ト共ニ唱歌セヨ

〔教師左ノ譜ヲ唱フ生徒等之ニ倣フ〕

生徒ノ如メラ此等ニ哀ミテ孝節トテニ言ニ自ニ孝自ニ言ニ

和スル者僅々十ノ一ナリトス是等ハ日曜學校又ハ自家ニテ唱ヒ慣
レタルモノナルヘシ其餘ハ殆ト發聲スルコト能ハサルモノカ又
ハ奮ヒテ唱歌ストモ決シテ其調ニ和スルコト能ハサルモノナリ
教師ハ生徒ノ進歩ヲ助ケンカ爲ニ須ラク種々ノ方法ヲ設ケ唯其
耳ヲ專用セシムルノミナラス眼ヲモ亦活用セシムルコトヲ務ム
ヘシ

左ニ示ス方法ハ唯少時間之ヲ用フルニハ至極善良ナルモノトス
師云 余嘗テ汝等ニ余カ唱歌スル時親シク余カ顔面ニ着目スベ
キヲ要セリ然ルニ或ハ余カ顔面ニ注目セズシテ教場ノ周圍ヲ反
顧シ或ハ適余カ顔面ヲ見ル者アルモ唱歌セス願フニ是レ蓋シ發
聲スヘキ適當ノ刻度ヲ解セサルニ因ルナラン是ニ於テ余今マ其

發聲スヘキ適當ノ刻度ノ號ヲ示サント欲ス
 師問 [聖筆ヲ持テ]是レハ何物ナリヤ
 生答 其レハ白聖ノ一片ナリ
 師問 然リ、又黑板ヲ指シ是ハ何物ナリヤ
 生答 其レハ黑板ナリ
 師云 然リ、余カ既ニ示シタル唱歌ヲ今此黑板面ニ記セハ汝等能ク之ニ注目シ余ニ倣ヒテ唱歌セヨ
 師又云 余カ唱歌スルキハ余此板面ニ白聖ヲ以テ弧線ヲ記スヘシ余其白聖ヲ板面ヨリ放ツキハ汝等一齊ニ唱歌セヨ
 [此時教師ハ此方法ニ因リテ先ツ唱歌ス而シテ生徒モ亦皆之ニ倣フ]

ナ な	ル く	ヤ や	チ ち	ス ど	ズ り
カチレコホへ			ソノフノサクラ		
ハルヤマコ			タツカスミ		
アガレアガレ			ヒロノノヒバリ		
イハへイハへ			キミガロイハへ		



小指ヲ指ス



無名指ヲ指ス



中指ヲ指ス



食指ヲ指ス



拇指ヲ指ス

右ノ弧線ヲ記スルハ中節大節共ニ其首字ヲ唱フ間ニ極メテ迅速ニ記シ了ルヲ要ス此ノ如クシテ全節ヲ唱ヒ了ルマテ之ヲ板面ニ附ケ今マ生徒ヲシテ發聲セシメントスル際ニ之ヲ放チテ以テ其號トナスヘシ

此ノ如ク耳目兩ツナガラ活用セシムルハ少時間生徒ノ注意力ヲ興起スルノ功甚ダ多シ

生徒ニ耳目兩ツナガラ活用セシムルガ爲ニ左ノ方法ニ據リテ師自分ノ五指ヲ使用スルモ亦一ノ良法トス

〔師左掌ヲ自分ノ目前ニ向ケ五指ヲ開キ每指ヲ指シテ其曲ヲ唱フコト左ノ如クス〕

音樂教授法

第一教

師問 余カ掌中ニ在ルハ何物ナリヤ

生答 書籍ナリ

師問 書籍トハ何ノ用ニ供スルモノナリヤ

生答 讀書ノ用ニ供ス

師云 然リ、汝等書籍アルガ爲ニ小説ヲ讀ミ又文字ヲ書キ文ヲ綴ルコトヲ學ビ且ツ亦歌ヲモ善ク唱ヒ得ルニ至レリ但シ我等カ唱フ所ノ音樂ハ其書法全ク小説等ニ異ナリ〔此時師ハ樂譜ノ一冊ヲ開キ〕是ハ樂譜ナリ汝等之ヲ讀本ト同視スルヤ何如

生答 否ナ、其一冊中ニ一ノ文字アルヲ見サルナリ

師云 實ニ然リ、一ノ文字アルコトナシ然レモ此一冊ハ汝等ヲシテ樂譜ヲ讀ミ或ハ之ヲ記スル方法ヲ學ハシムルモノナリ故ニ此方法ニ據リテ樂譜ヲ學ビ讀ムコトヲ得ハ其所属ノ歌ヲ唱フコト自在ナルニ至ルベキハ言ヲ俟タサル所ナリ今マ此教場ニ在ル生徒中ニ奮勵シテ此樂譜ヲ讀ミ且ツ之ヲ記ス法ヲ學ビ得ント欲スル者幾許アリヤ

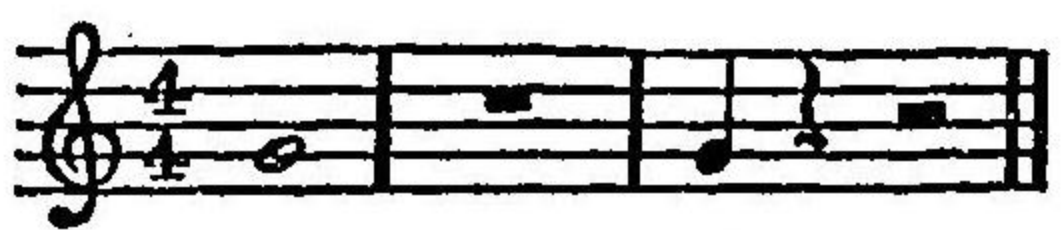
〔此時生徒等皆揚手スヘシ〕

師云 善イ哉ナ喜ハシ然ラハ直ニ一課ヲ授ケン汝等審聽セヨ

長短音ノ初歩

師云 余試ニ二音ヲ唱ハントス汝等之ヲ審聽シテ其二音ニ差アリヤ如何ヲ演ヘヨ

〔此時教師ハ左ノ如ク唱フ〕



ナ ナ

師問 此二音同一ナリヤ

生答 否々

師問 其差異ハ何如

生答 一ハ長ク一ハ短シ

師問 然リ其二音中何レヲ長シトスルヤ

生答 第一音ナリ

師問 然リ今マ生徒中ニ此長音ヲ唱ヒ得ル者アリヤ

〔數名之ヲ唱ハントトシテ望ム〕

師云 某ハ長音ヲ唱フヘシ

〔某之ヲ唱フ〕

師云 善シ復タ短音ヲ唱ヘ

〔某直ニ短音ヲ唱フ〕

師問 正ニ然リ他ニ尙ホ誰カ此短音ヲ唱ヒ得ル者アリヤ

〔此ノ如クスレハ某ノ善ク唱ヒ得ルヲ聽キ他生徒モ亦皆競ヒテ其二音ヲ唱ハントスル思念ヲ興起スルニ至ルベシ此時師ハ他生徒中ノ最モ善クシ得ヘキモノヲ呼ビ出シテ之ヲ試ミ生徒ノ心中ニ何レカ正シキ音ナリヤヲ感セシムルヲ要ス是

レ毎教必ズ施スヘキ要法ナリ然ル後ニ其音聲ヲ誤ルヘキ者
 ナシテ之ヲ唱ハシメ他生徒ヲシテ競ヒテ其誤聲ヲ正サシム
 ベシ尤モ第一番ニ其誤聲ヲ見出シ、モノナシテ常ニ之ヲ正
 サシムルヲ善シトス其時ニ當リテ一ノ生徒若シ過ルコトア
 リテ他ノ生徒其過失ヲ咎メハ其咎メシ生徒ヲシテ直ニ之ヲ
 改正スルヲ命スベシ以上數件ノ如キハ此課ヲ授クルニ當リ
 全級生徒ノ注意力ヲ興起スルノ一良法ナリ

長短音ノ第二步

師云 汝等余カ今マ唱フ所ノ音聲ヲ審聽シテ其音數幾許ナルヲ
 答ヘヨ

教師此ノ如ク唱フ



生答 三音ナリ

師云 然リ余再ヒ之ヲ唱ハシ汝等此三音中ニ長音ト聽キナスモ
 ノ幾許アリヤヲ言ヘ



教師再ヒ唱フ

生答 長音一アリ

師問 何ノ處ニアリヤ

生答 最後ニアリ

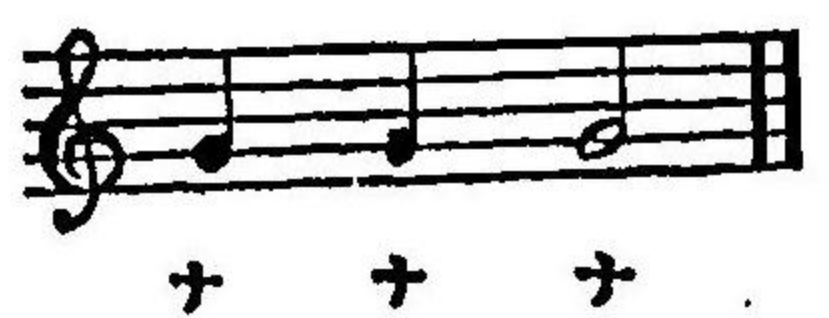
師云 善シ然ラハ余今マ其三音ヲ記スル方法ヲ示サントス然レ
モ音楽ヲ書スルニハ決シテ文字ヲ用フルコトナク皆譜ヲ用ヒテ
書スルナリ余既ニ音楽ヲ記スルニ如何ナルモノヲ使用セシヤ

生答 符ナリ

師云 汝等ヨク意

ヲ用ヒテ此三音ヲ

唱へ



生徒等此ノ如ク唱フ

師問 第二音ノ種類ハ如何

師云 善シ此三音ニ就キテ尚ホ汝等ニ説明セント欲スルコトアリ
因テ余ハ符ヲ用ヒテ此三音ヲ記スル方法如何ヲ汝等ニ問ハン
トス抑此三音中第一音ハ如何ナル種類ノモノニテアリシヤ

生答 短音ナリ

師問 然リ其音ヲ記スルニ如何ナル符ヲ使用スヘキカ

生答 短音ノ符ナリ

師云 然リ短音ノ符ハ是ノ如キモノナリ

〔教師左ノ如キ符ヲ記ス〕

生答 短音ナリ

師問 然リ、其符ハ如何

生答 短音ノ符ナリ

師云 然リ

〔教師第一ノ短音符ニ並列シテ復タ一ノ短音符ヲ記スルコト左ノ如クス〕



師問 第三音ノ種類ハ如何

生答 長音ナリ

師問 然リ、如何ナル符ヲ記スヘキカ

生答 長音ノ符ナリ

〔教師短音二個ノ符ニ並列シテ一ノ長音符ヲ記スルコト左ノ如クス〕



師問 然リ、是レ長音ノ符ナリ誰カ此等ノ符ヲ唱ヒ得ルヤ

〔數名正シク之ヲ唱フ〕

師云 余ハ又今マ汝等カ唱ヒ得タルモノニ等シキ三音ノ符ヲ此ニ列記セン

〔教師之ヲ記スルコト左ノ如クス〕

師問 誰カ此符ヲ悉ク唱ヒ得ルヤ



〔數名復々正シク之ヲ唱フ是レ生徒等既ニ長短二音ノ差ヲ會得シ且ツ一目シテ其符ヲモ亦解シ得ルニ在ルナリ〕

教師既ニ教授シタル歌曲ヲ黑板ニ記シテ云

此歌曲中ニ嘗テ學ヒ得タル教課アリヤ誰ニテ

モ之ヲ指示スヘシ 〔此時某生ハ其歌曲ニ着目シテ先キニ學ヒタル教課ヲ指示ス〕

〔此圖中ノ教課ハ嘗テ生徒ノ學ヒ得タル所ノモノナレハ各生徒得色ヲ現ハシテ直ニ之ニ着目スヘシ此時教師ハ代々生徒ヲ招キテ其教課ヲ指示スルヲ命シ且ツ之ヲ唱ハシム或ハ一

生徒ヲ教師ノ席ニ置キ其符ヲ指サシメ他生ヲシテ亦之ヲ唱ハシム此時ニ方テ生徒中ニ若シ暴聲ヲ發スル者アラハ師之ニ意ヲ用ヒテ直ニ其符ヲ自唱シ以テ生徒ニ其音聲ノ可否ヲ問フヘシ必ズ衆生皆最朗ナリト答ヘン〕

師或ハ試ミニ粗唱シテ問

此音聲爽朗ナリヤ如何

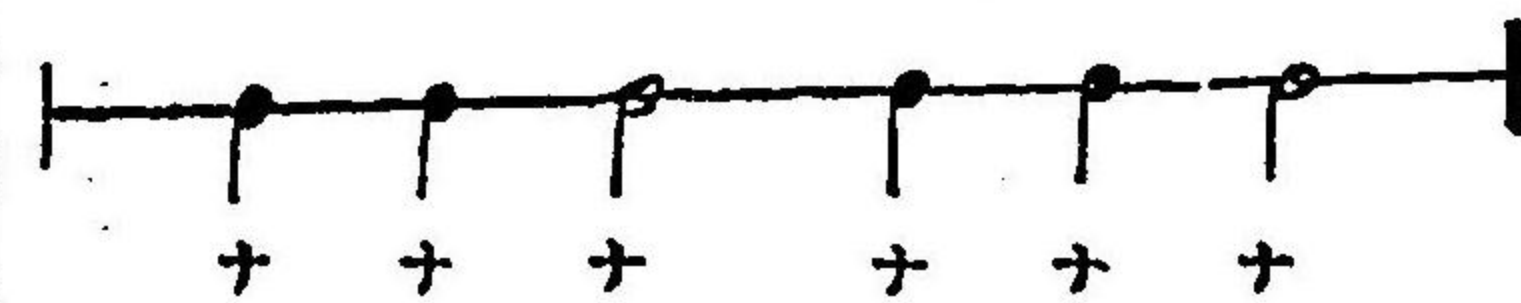
生答 爽朗ナラス

師云 然リ之ハ課音ナリ〔此

時更ニ朗唱ス汝等務メテ此

音聲ニ倣ヘ

〔再ビ左ノ如ク唱フ〕



〔生徒ヲシテ石盤上

ニ此課ヲ記寫セシ

ムルヲ要ス〕

前條ノ課ヲ教授セント

スルニ方テ教師ノ注意

ヲ要スル條件左ノ如シ〕

第一條 常ニ生徒ノ聽官ヲ感起シ之ヲ以テ教課會得ノ先導
 タラシムヘシ

第二條 生徒ノ視官ヲ用ヒシムルハ一層教課ニ注意ヲ厚ク
 センメンカ爲ナリ

第三條 樂譜ハ時々實地ニ教課ヲ演習スルニ要スル所ノモ
 ノニ限りテ之ヲ授クヘシ

第四條 生徒ヲシテ常ニ其習學ノ課ヲ石盤上ニ寫記セシム
 ルホハ自ラ音樂用ノ符號及ヒ記號等ヲ習熟スルニ至ルヘシ

第五條 生徒ニ附與スル記號ハ言語ヲ以テ其精理ヲ辨解セ
 シヨリハ寧ロ唱歌シテ其主意ヲ詳ニシ其意義ヲ明確ニスル
 ヲ要ス

第二教

小節區分ノ思想ヲ開發スル方法

師云 汝等余カ今マ此ニ爲ス所ノ事業ニ着目シ其唱音ヲ審聽シ
 テ余ニ之ヲ告ケヨ

〔此時教師(一)(二)ト數フ〕

生答 師(一)(二)ト數ヘタリ

師云 余又更ニ(一)(二)ヲ數ヘン汝等審聽シテ其幾回ナルヲ演ヘヨ

〔此時教師(一)(二)(一)(二)ト數フ〕

生答 二回ナリ

師云 余更ニ(一)(二)(一)(二)ト數ヘン汝等亦同法ニヨリテ數フヘシ

〔生徒(一)(二)(二)ト數フ〕

師云 善シ、余更ニ(一)(二)ヲ數ヘン其幾回ナルヲ答ヘヨ

〔此時師ハ(一)(二)(一)(二)(一)(二)ト數フ〕

生答 四回ナリ

師云 汝等亦四回(一)(二)ヲ數フヘシ

〔生徒等(一)(二)(一)(二)(一)(二)ト數フ〕

師云 余今マ(一)(二)ヲ二度數フヘシ其時強聲(一)(二)ニ音ノ何レニ在
リヤ審聽シテ之ヲ答ヘヨ

〔教師之ヲ數フルニ聲カヲ(一)ニ附ス〕

生答 (一)ノ聲力(二)ニ比スレハ甚々強シ

師云 汝等余カ今マ爲セル法ニ倣ヒテ更ニ(一)(二)ヲ數フヘシ

〔生徒ハ(一)(二)(一)(二)ト數フ〕

師云 音樂上此各(一)(二)ヲ名稱シテ一小節ト云フナリ

師云 汝等今マ二小節ヲ數ヘヨ

〔生徒ハ直ニ(一)(二)(一)(二)ト數フ〕

師云 今マ余カ此ニ數フル所ノ小節幾許ナリヤヲ答ヘヨ

〔此時師四小節ヲ數フ〕

師云 汝等四小節ヲ數フヘシ然シテ其時余カ如何ナル舉動ヲ爲
スヤニ着目スヘシ

〔生徒數フ、教師之ニ隨テ歩行ス〕

生答 歩行セリ

師問 然リ、然レモ其歩行スルニ方テ余ハ無心ニ歩行セシヤ又ハ

兵隊ノ如ク拍子ニ乗シテ進行セシヤ如何

生答 兵隊ノ進行スルカ如ク歩行セリ

師問 余カ歩行セシハ其節數幾許ナリシヤ

生答 四節ナリ

師云 信ニ然リ誰カ余ト共ニ能ク四節ヲ歩行スル者アリヤ如何

〔此ニ於テ之ヲ望ム者數名アリ教師善ク視察シテ生徒中ヨリ
堪能ノ者二三ヲ舉ゲテ之ヲ試ミシム〕

師問 余ハ小節ヲ説示スルニ幾許ノ方法ヲ用ヒシヤ

生答 二種ノ方法ヲ用ヒタリ即チ一ハ(一)ト數フル法一ハ進行
スル法ナリ

師云 然リ々々汝等小節ヲ表スルニ此ノ如ク二種ノ方法アルヲ

了知セハ余又次教ニ於テ尙ホ他ニ二種ノ方法アルヲ示スヘシ

〔前章掲ケタル二條ノ教授法中其何レヲ選用ストモ素ヨリ教
師ノ任ニ在リ然レモ米國新約克ノ諸學校ノ如ク專ラ進行ノ
拍子ヲ用フルモノハ特ニ其解説ニ意ヲ用フルヲ要スルナリ
蓋シ新約克ニ於テ各級教フルニ進行ノ方法ヲ以テスルモノ
ハ其拍子ヲ會得セシムルノ便利ニ出ヅルモノトス〕

第三教

小節區分法ノ續

師云 汝等二小節ヲ數ヘヨ

〔生徒等(一)(二)(一)(二)ト數フ〕

師問 又他ニ小節ヲ表スル法アリヤ如何

生答 法アリ即チ進行ナリ

師云 然リ余又他ニ一法アルヲ示サン

〔此時教師ハ先ツ左手ヲ己カ胸前ニ出シテ其掌ヲ上方ニ向ケ右手ヲ斜立シテ之ニ對シ左右ノ掌ヲ殆ト相觸ル、ニ至ラシメ而シテ生徒ニ問フコト左ノ如クス〕

師問 余カ右手ハ今(一)ト數ヘシキ何レノ方ニ向ヒシヤ

生答 下ノ方ニ向ヘリ

師問 〔右手ヲ上ケ(二)ノ時ハ何レノ方ニ向ヒシヤ

生答 上ノ方ニ向ヘリ

師云 手ノ下ニ向フヲ下拍ト名ヅク汝等之ヲ何ト稱スルヤ

生答 下拍

師云 然リ〔此時又其右手ヲ上方ニ揚ケテ〕生徒ニ其名稱ヲ問フ

〔生徒等必ズ上拍ト答ヘン若シ答ヘ得サルキハ師之ヲ教フ〕

師問 下拍ニ(一)ト數ヘタリ然ラハ上拍ニハ何ト數フヘキカ

〔生徒等必(二)ト答ヘン若シ答ヘ得サルキハ師之ヲ教フ〕

師云 余カ今マ拍ツ所ノ數幾節ナルヲ告ケヨ

〔此時教師ニ小節ヲ拍ツ〕

生答 二小節ナリ

〔教師ハ試ミニ某生ニ命シテ二小節ヲ拍タシメ他ノ某生ニハ四小節ヲ命シ或ハ全級一齊ニ二小節ヲ拍タシムル等ノ法ヲ施スヘシ此ノ如クシテ生徒ヲ練習セシムルキハ自ラ倦怠ノ

思念ヲ生セシメズシテ能ク其理ヲ心ニ記スルニ至ラン

師問 余カ既ニ説明セシ小節區分ノ方法幾許アリヤ

生答 三アリ

師問 其名稱ハ如何

生答 計數進行、拍手ノ三ナリ

師云 善シ然ラハ其三法ヲ記載スル方法ヲ示サン、凡ソ音樂ヲ記スルニハ常ニ何物ヲ使用スルヤ

生答 符ナリ

師云 然リ今マ余カ一小節ヲ拍チ且ツ之ヲ唱フ間ニ何事ヲ爲スヤヲ見ルヘシ

〔此時師一小節ヲ拍チ且ツ一拍毎ニ一短音ヲ唱フコト左ノ如

クス



師問 此一小節中余カ唱ヒシ音數幾許ナリヤ

生答 二音ナリ

師問 其音ノ種類ハ如何

生答 短音ナリ

師云 然リ其短音幾許ヲ併セテ一小節ヲ成スヤ

生答 短音二ヲ併スルナリ

師問 其一小節ヲ記スルニ幾許ノ短音符ヲ用フルヤ

生答 二個ナリ

〔此時教師ハ黑板面ニ二個ノ短音符ヲ記スルナリ〕

師問 今マ余カ此二符ヲ記セントスルニ當リ其第一符ニ就キテ

何ノ數ヲ計ヘシヤ

生答 (一)ト數ヘタリ

師問 第二符ニハ何ト計フヘキヤ

生答 (二)ナリ

師云 樂譜ヲ記スルニ當リテ各小節ノ境界ヲ分カタシカ爲ニ必ス節後ニ一ノ縦線ヲ使用ス

〔教師小節ノ後ニ其縦線ヲ記スルコト左ノ如クス〕

師問 各小節ノ後ニ何物ヲ記スヘキヤ

生答 縦線ナリ

師云 余又他ノ一小節ヲ拍チ且ツ之ヲ唱ハ

ン汝等其音聲ヲ審聽セヨ



〔此時教師一小節ヲ拍チ且ツ唱フコト左ノ如クス〕

師云 今マ余カ唱ヒシ音數幾許ナリヤ

生答 一音ナリ

師問 其音ノ種類ハ如何

生答 長音ナリ

師問 一小節ハ長音幾許ヲ以テ成ルヤ

生答 一長音ヲ以テ成ル

師問 其長音ヲ記スルニ何ノ符ヲ用フヘキヤ

生答 長音ノ符ヲ使用ス

〔此時教師長短二種ノ符ヲ以テ二小節ヲ記シ而シテ各符上ニ數字ヲ施スコト左ノ如クス〕



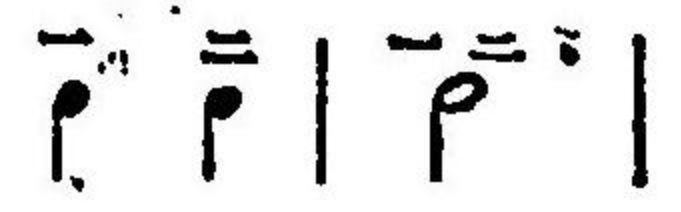
左ノ如クス



師問 各小節ノ後ニ何物ヲ記スヘキヤ
生答 縦線ヲ記スヘシ

〔此時教師二小節ニ其縦線ヲ記スルコト

教師ハ既ニ説明セシニ



小節ニ又二小節ヲ増加
シテ通常每一教課ノ終
尾ニ記スルカ如キ二條
併合ノ縦線ヲ其最後ノ

節尾ニ施シテ黑板ニ之ヲ記載スルコト左ノ
如クス



〔此ノ如ク
シテ教師
ハ自ラ黒
板ニ記シ
タル四小
節ヲ指シ

生徒ヲシテ之ヲ拍ナ且ツ獨唱シ或ハ合唱セシム又時アリテ
ハ生徒ヲ勵マスガタメニ其最良ナル者ヲ舉ケテ教師ノ席ニ
代ラシムヘシ但シ生徒ハ各自教師ノ黑板上ニ記セシモノヲ
我ガ石盤ニ記寫スルヲ要ス

第四教

長短二種ノ休止

教師生徒ニ令シテ曰ク〔位置ヲ正セ〕總生徒席ニ就クテ視テ又曰ク
善シト此時下拍ヲ爲シ其何タルヲ問フ

生答 下拍ナリ

師問 上拍ヲ爲シテ是ハ如何

生答 上拍ナリ

師云 今マ余二小節ヲ拍タン其時何レノ方ニ拍ツキ唱ヒ何レノ方ニ拍ツキ休止スルヲ告ケヨ

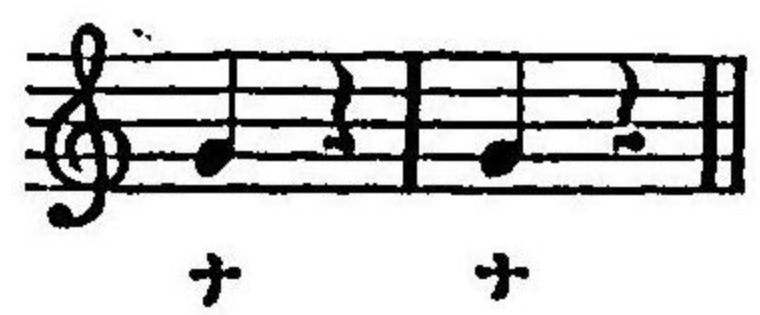
〔教師拍ナ且ツ唱フコト左ノ如クス〕

生答 師ハ下拍ノキニ唱ヒタリ

師云 然リ余上拍ニ當リテハ全ク唱ハス之ヲ稱シ休止ト云フ余復タ此二小節ヲ再唱セン

〔教師拍ナ且ツ唱フコト前ノ如クス〕

師問 生徒中誰カ此二小節ニ就キテ余カ爲セシ如ク爲シ得ル者アリヤ



〔此時教師試ニ一生徒ヲ指シテ之ヲ命ス〕

〔一生徒其二小節ヲ拍ナ且ツ唱フ〕

師云 然リ試ニ又他ノ一生ニ之ヲ命ス其一生モ亦之ヲ能クス師曰ク善シト然ラハ全級一齊ニ之ヲ爲セ

〔生徒ハ各自其一拍ニ休止スル適度ヲ會得スルニ至ルマテ皆勉メテ之ヲ復習ズルヲ要ス〕

師云 余思フニ汝等ノ中ニ恐ラクハ既ニ學ヒ得タル二小節ヲ記スルニ何等ノ方法ヲ以テスルカヲ教示センコトヲ望ム者多カラシ
〔教師此ノ如キ策言ヲ設ケテ幼稚ヲ奮勵セシムレハ必ズ皆揚手スヘシ〕

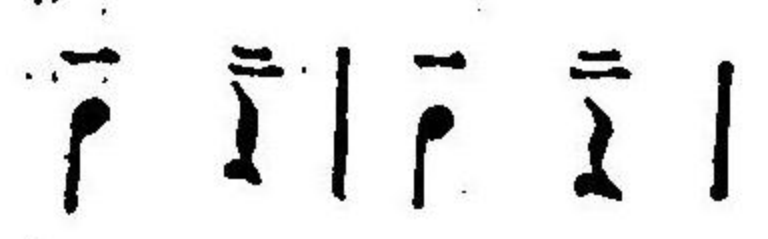
師云 然ラハ余ハ復タ二小節ヲ拍ナ且ツ之ヲ唱ハン
〔教師唱フ〕

師問 余ハ毎小節ニ下拍ニ於テ何事ヲ爲セシヤ
生答 短音ヲ唱ヒタリ

師問 毎小節ニ上拍ニハ何事ヲ爲セシヤ
生答 休止セリ

師云 然リ、余之ヲ黑板ニ記セン

〔此時教師之ヲ黑板ニ記スルコト左ノ如クス〕



師云 總ヘテ樂譜中ニ休止ノ記號アルヲ見
ハ必ス默唱スルモノトセヨ、今マ余カ此ニ記
セシ内ニ休止ノ有ルハ幾小節ナリヤ

生答 二小節ナリ

師問 是レニテ此教課ハ終リタリヤ且ツ余

ガ記スベキモノヲ悉ク記セシヤ

〔生徒等暫ク答ヘズ稍思考ス〕

甲生徒答 〔暫クシテ〕然リ

乙生徒答 否ナ

師問 何故ニ汝ハ否ナト答フルヤ

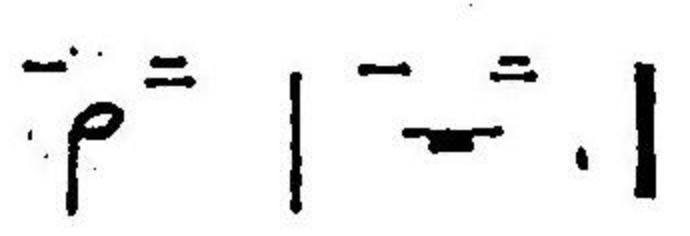
乙生徒復答 併合縦線ヲ記セサルヲ以テナリ

師云 信ニ然リ、余更ニ二小節ヲ記附セント欲スルナリ汝等善ク

審聽シテ其如何ヲ告ケヨ

〔教師拍ヲ且ツ唱フコト

左ノ如クス〕



生云 師、第一小節ニ長音
ヲ唱ヒ第二小節ニ休止セ

師云 然リ、此第一小節ニ記スル符ハ如何
生答 長音ノ符ナリ

師云 善シ、然ラハ既ニ教授シタル二小節ニ此二小節ヲ増加シテ
四小節トナシ其後
節ニ長休止ノ記號
ヲ置キテ之ヲ黑板
ニ掲載セン

〔此時教師ハ左
ノ如ク四小節
ヲ記載シテ之
ヲ示唱ス〕



師云 余復ダ此四小節ヲ數ヘ
ン、然ルキ其休止ノ所ニ至リテ
如何スルカ切ニ聽キテ余ニ之
ヲ告ケヨ

〔教師休止ノ記號ニ遇フ毎
ニ微音ヲ以テ之ヲ數フ〕

生答 休止ノ所ニ至ルキハ微音ヲ以テ之ヲ數ヘタリ

師云 然リ、汝等此方法ニ從ヒテ善ク之ヲ數フヘシ

〔師令ヲ下スコト此ノ如クスト雖モ生徒中其休止ノ所ニ至リ
テ若シ高聲ヲ發スル者アルキハ之カ爲ニ他ノ生徒ノ妨害ヲ
ナスコト尠カラサレハ教師ハ各生徒ヲ招キテ一々之ヲ查檢
スルヲ要ス是レ即チ幼稚ヲシテ休止ヲ會得セシムル實地ノ
良法ナレハナリ

此時教師ハ既ニ教授シタル三課ヲ更ニ黑板ニ記載シテ之ヲ
復習シ試ニ一生徒ヲ舉ケテ教師ノ席ニ置キ他ノ生徒ヲシテ
其先導ニ從ヒテ拍ヲ且ツ唱ハシムヘシ然ルキハ各自其假教
ヲ批評セントスルノ思念ヲ發シ過誤アルヲ看レハ直ニ之ヲ

答ムルニ至ル故ニ教師善ク意ヲ用ヒテ此教授法ヲ施行スレハ生徒ノ勉勵心ヲ發動セシムル一良法ト爲ルニ足ル又爽朗ナル美音ヲ發セシムルニハ種々ノ方法アリト雖モ此ノ如キハ素ヨリ教師ノ勉強ニ關スル所ナレハ教師ハ屢自ラ音聲ヲ發シ樂音ト謔音トノ差異ヲ示シ或ハ生徒ヲシテ其兩音ノ例ヲ舉ケシムル等百方心力ヲ盡シテ其進良ヲ企圖スヘキナリ

第五教

音階ノ教授法

此課ノ教ヲ受クル生徒ハ既ニ唱音口授ノ業ニ據リテ大畧音階高低ノ唱法ヲ學ビ且ツ唱歌集初編第一葉ニ就キテ其圖解ヲモ亦善

ク了知セシ者ト看做スヘシ

師云 生徒等今マ余ガ唱フ所ノ音聲ヲ審聽シ其音數幾許ナルト其轉動ノ如何トヲ演ヘヨ〔此時教師ハ(ナ)(ナ)ト音階ヲ順次ニ唱上ス〕

〔教師此ノ如クシテ生徒ノ意中ニ各音順序ヲ追ヒテ逐次ニ昇上セシヲ了知セシメハ其答果シテ師ノ唱音逐次ニ昇上セリト云ハン〕

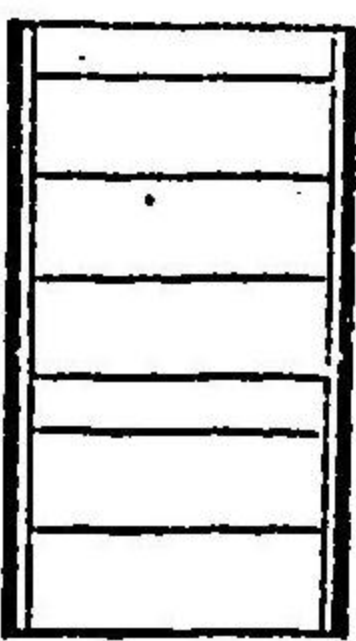
師云 汝等答フル所信ニ然リ此唱音ノ順次昇上スルハ恰モ階級ノ逐次ニ昇上セルニ等シ余復タ一階級ヲ唱昇セントス切ニ之ヲ聽ケ〔此時師ハ(ナ)(ナ)ト之ヲ唱昇シテ云フ汝等亦之ニ倣ヒテ一階級ヲ唱ヒ次ニ二階級四階級六階級八階級ト唱昇セヨ〕

〔教師ハ生徒ヲシテ此音階昇降ノ轉唱自在ナルヲ會得セシメ

ンカ爲ニ或ハ各自ノ生徒ニ就キテ之ヲ查聽シ或ハ一齊ニ之ヲ口唱セシメテ其ノ能ク修メ得タルヲ確認セハ直ニ左ノ教授ニ進ムヘシ

師云 汝等ニ此音階ノ級等ヲ詳解セシメンカ爲ニ余今マ黑板面ニ其圖ヲ記載セントス誰ニテモ之ヲ希望スル者アリヤ否ヤ

〔此時生徒等必ズ皆揚手セン、是ニ於テ師ハ黑板ニ其圖ヲ記スルコト左ノ如クス〕



音階級等ノ圖

師云 是ハ音階ノ圖ナリ又圖中水平ノ線ハ即チ高低各音ノ階級ナリ蓋シ汝等此圖ノ形狀ヲ見テ如何ナルモノニ似タリト想フヤ

生答 階梯ニ似タリ

師云 然リ、音樂上ニハ之ヲ樂階或ハ音階ト稱セリ蓋シ音樂家ハ余等カ今マ既ニ唱ヒン所ノ八音ヲ指シテ音階ト稱セリ余更ニ此音階ヲ唱ハント欲ス汝等善ク查聽セハ其音聲ノ逐次ニ昇上スルヲ恰モ階梯ニ昇ルカ如クナルヲ知ルニ至ラン

師問 余カ今マ唱ヒン音數幾許ナルカ

生答 八音ナリ

師問 然ラハ一音階中ニ其音數幾許アルカ

師答 八音ナリ

師問 其差異ハ如何

生答 音調逐次ニ昇レリ

師問 [此時教師ハ音階ノ級等ヲ指シナガラ或ハ唱上シ或ハ唱下シテ]余今マ如何セシカ

生答 師音階ヲ一回唱上シ一回唱下セリ

師云 此八音各名アリ恰モ汝等ノ各ニ名アルカ如シ先ツ其第一ヲ1[ヒ]ト云フナリ余音階ノ第一級線ニ此名號ヲ記セン

[師、黑板面ノ音階圖第一級線ニ1字ヲ記ス]

師問 第二級線ニハ如何ノ名號ヲ記スト想フカ

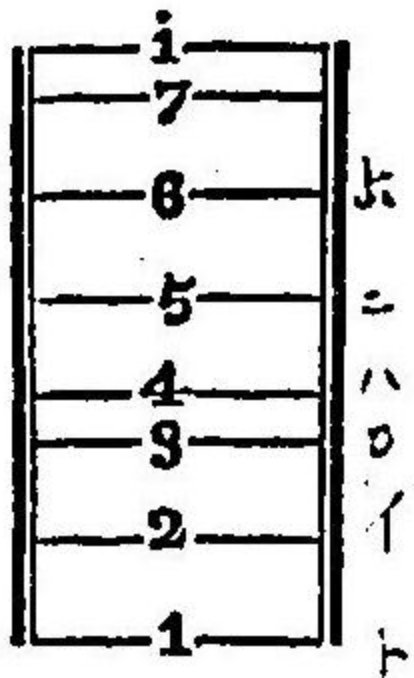
生答 2[フ]字ナリ

師問 其次キハ如何

生答 3[ミ]字ナリ

[教師此法ニ因リテ黑板面音階ノ八級線ニ各其名號ヲ記スル

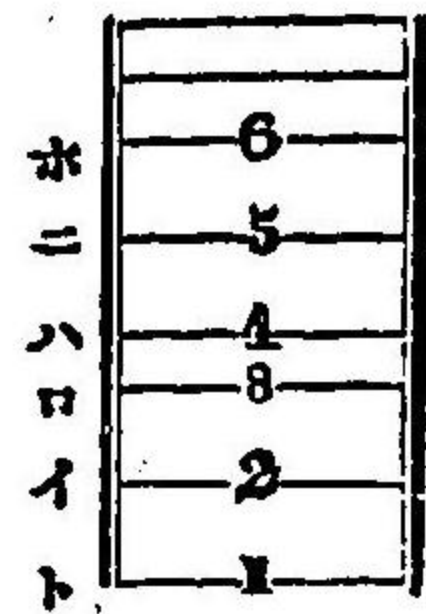
コト左ノ如クス]



音ハ(ハ)第五音ハ(ニ)第六音ハ(ホ)ト云フナリ

[此時教師ハ先ツ生徒ニ就キテ圖中何レノ所ニ(ト)字ヲ置クヘキカヲ問ヒ而シテ順次(ホ)字ニ至ルマテ其調名ヲ問ヒ以テ之ヲ黑板ノ圖側ニ記スルコト左ノ如クス]

師云 余此ノ如ク黑板面ノ音階圖ニ各音二名アルヲ記スルコト第六音ニ至レリ其餘尙ホ一二ノ音數アリト雖



モ此ニ之ヲ示スヲ要セス是レ其音調高クシテ唱フニ困苦アルヲ
覺ユルヲ以テナリ蓋シ生徒等之ヲ練習センニハ或ハ階名ニ據リ
或ハ調名ニ據リテ先ツ二階級ノ昇降ニ始マリ次ニ四階級ニ及ヒ
而シテ後ニ六階級ノ昇降練習ニ進ムヘシ

〔教師タル者善ク此方法ニ意ヲ用ヒテ之ヲ施サハ生徒ノ練習
ニ其益アルヲ甚ク多シ又教師ハ各生徒或ハ全級生徒ニ此音
階ノ朗唱ヲ命シ或ハ生徒中其得意ナル者ヲ舉ケテ教師ノ席
ニ置キ黑板ノ圖解ヲ指唱センメテ他生ヲシテ其先導ニ從ハ
シム又時トシテ教師若シ生徒ト共ニ口唱スルコト能ハサル
コトアラハ一樂器ヲ執リ生徒ニ告ケテ曰ク此樂器余ニ代リ
テ此音階ヲ唱ハン汝等善ク查聽シテ樂器ト同音ニ朗唱セヨ

ト此ノ如クセハ各級必ズ耳覺聰敏ノ幼童アリテ忽チ其音調
ヲ會得スルニ至ラン其時此生徒ヲ採出シテ師席ニ代ラシメ
ハ頼リテ以テ他ノ生徒ヲ誘導スルノ一助トナルヘシ其他毎
教發音正爽ナラシメンカ爲ニ教師ノ之ニ注意スヘキハ固ヨ
リ言ヲ俟タザル所ニシテ前條ノ如ク生徒ヲ師席ニ就カシメ
テ以テ教授間屢各生徒ヲシテ代々其席ヲ轉セシメ此機ニ際
シテ教師命スルニ各位置ヲ正クシ胸部ヲ突出シ其口ヲ開張
シテ爽朗ニ發聲セヨト令ヲ以テシ而シテ毎ニ之ヲ怠リ忘ル
ハコトナカラシメハ此法ニ因リテ必ズ終ニ純一正爽ノ發音
ヲ會得スルニ至ラン是レ音樂教授ノ一良法ナリ〔モンレー氏
ノ音聲教授書ニ就テ之ヲ參考セヨ又爰ニ一法アリ教師ハ試

ニ屢幼稚ノ音聲ニ擬シ或ハ自聲ヲ以テ爽音ト諫音トノ差異ノ例ヲ示スヲ可トスルナリ或ハ時アリテ左ニ述フルカ如キ方法ヲ施用スルモ亦大ニ益アリトスルナリ

師問 鶯ヲ籠中ニ納レテ之ヲ家屋ニ養フ人アリヤ

生答 否ナ

師問 金絲雀ヲ養フ人アリヤ如何

師答 然リ養フ人アルヲ見タリ

師問 其故ハ如何

生答 其啼聲ヲ樂マントスルガ故ナリ

師問 鶯ハ歌フヤ如何

某生答 否ナ歌ハズ聲アレモ聽クニ堪フヘキ音調ノモノニ非ス

師云 汝其諫音ヲ真似ヨ

〔某生徒ハ直ニ教師ノ命ニ從フ〕

師問 汝善ク擬セリ然ルニ其音聲ヲ以テ金絲雀ノ啼聲ト等シク快美ナリト想フヤ如何

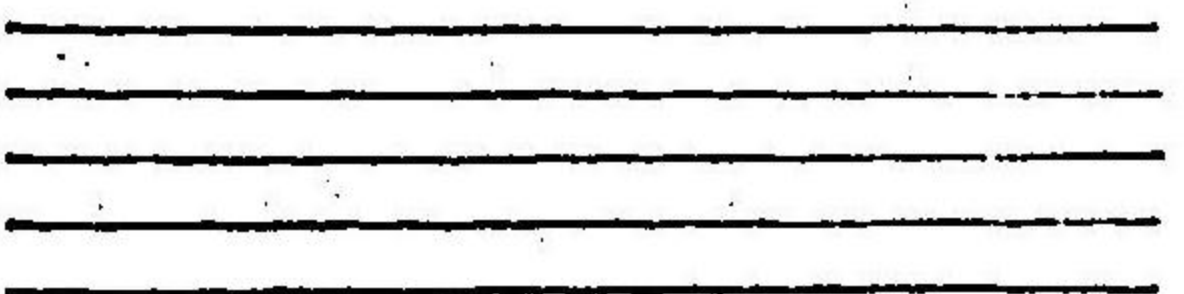
生答 否ナ決シテ快美ナリトセス

師云 然ラハ汝等亦務メテ金絲雀ノ如ク音聲爽朗ニ唱歌セズンハアルベカラズ抑、金絲雀ノ啼聲婉美ナル故ハ其歌ハントスルニ方リテ毎ニ口ヲ開キ以テ咽喉ヲ開擴スルニ在ルナリ故ニ汝等亦歌ハントスルニ方リテ金絲雀ノ如ク口ヲ開キ少シク舌端ヲ後方ニ引キ咽喉ヲ開擴シテ以テ發聲スルハ其音聲必ズ人耳ヲ喜ハシムルニ至ラン然レモ汝等若シ上下ノ兩齒ヲ密接シテ咽喉ヲ開

擴セズバ其發スル所ノ音聲亦驚ノ如クニシテ果シテ美ナルコト能ハサルナリ

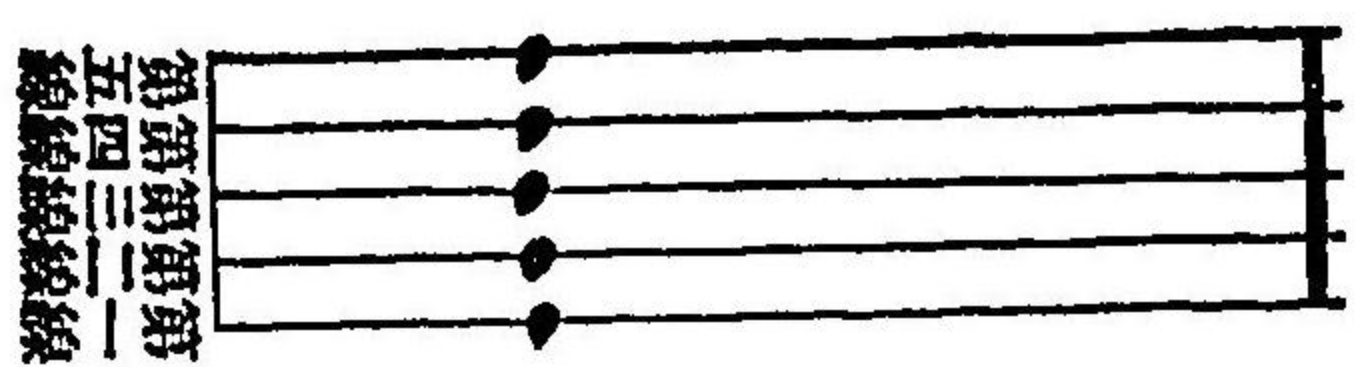
第六教

譜表ノ教授法〔視覺法〕



〔教師此五線ヲ記ス〕

師問 是レハ譜表ナリ其線數幾許アルカ
生答 五線アリ
師云 汝等善ク此五線ヲ暗記シテ余カ其各線ノ名稱ヲ問ハ、速ニ之ニ答フルコト
恰モ瞬目スルカ如クナルニ至ルヘシ
但シ其名稱ノ順序ハ最下ノ線ヨリ始ム即チ左ニ圖スルカ如シ

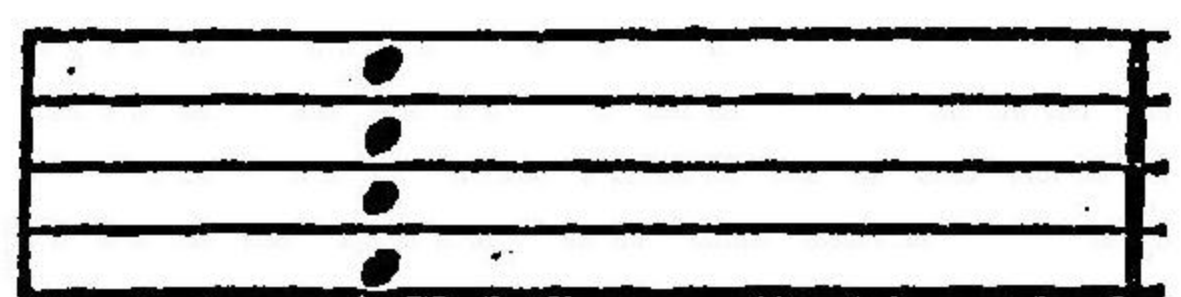


師云 余此線ヲ指シテ問フ
キ汝等ノ之ヲ見易カラシム
爲ニ線毎ニ一點ヲ施セリ故
ニ余此線ヲ指サバ汝等善ク
之ニ注目シテ迅速ニ其線名
ヲ告クベシ

〔此時教師先ツ生徒中ノ

最ナル者一二輩ヲ呼ビテ之ニ告クルニ凡ソ音樂ヲ學ハント
スル者ハ夙ニ此線ヲ譜記シテ迅速ニ其線名ヲ答フルヲ至要
ノ一課トスル意ヲ精細ニ説示スヘシ

師云 汝等善ク余ニ此線名ヲ告クルコトヲ得ルニ至レリ是ニ於
テ汝等皆此各線間ノ名稱ヲモ亦余ニ告クベシ

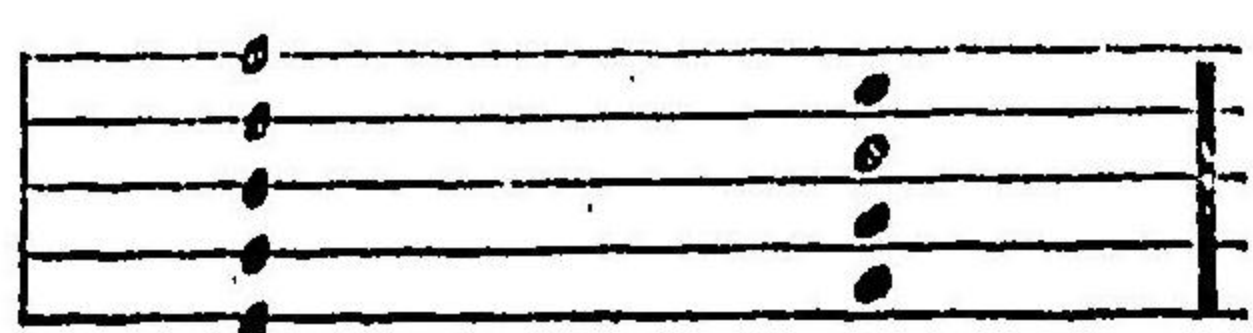
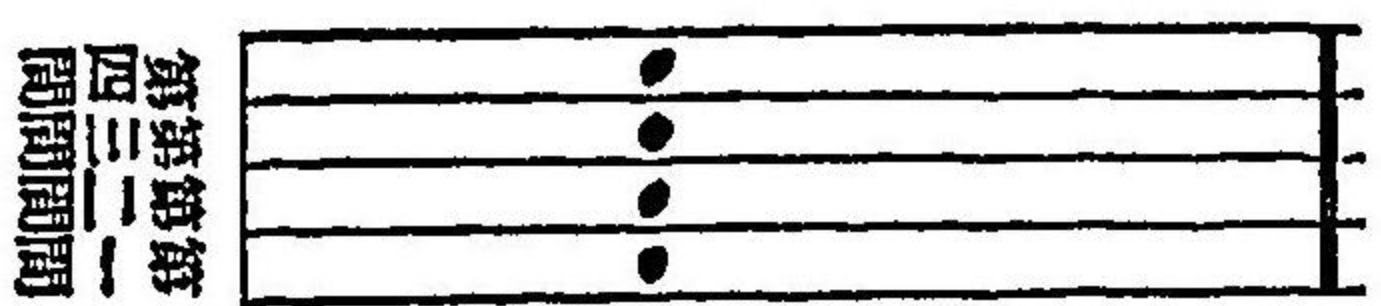


〔教師復タ上ノ如ク記ス〕

師問 此圖各線ノ間幾許アルゾ

生答 四アリ

師云 此線間ニ名稱ヲ附スルハ正シク線名ノ順序ニ隨ヘリ〔此時
其名稱ヲ記スルコト左ノ如クス〕



〔此時教師ハ生徒ヲシテ此各間ノ
名稱ヲ練習セシムルコト線名譜
記ノ方法ノ如クシテ而シテ各線
及ビ各間共ニ點ヲ施シテ譜表ヲ
記スルコト上ノ如クシテ同時ニ
其兩名ヲ教授スヘシ〕

師問 汝等既ニ善ク此各線及ビ各間

ノ名稱ヲ答フルニ至レリ、然シテ汝等其使用如何ヲ了知センコトヲ希望セルカ

生答 然リ、大ニ希望ス

師云 善シ、汝等見ヨ此譜表ノ形状恰モ棚板ノ層々疊ミ重ナレルカ如クナルヲ而シテ其所謂棚板ハ汝等ノ居住スル家屋ノ厨房等ニ設ケアリテ其使用ハ如何

生答 皿鉢類ノ器什ヲ置ク用ニ供スルモノナリ

師云 然リ、然レモ此ニ圖セルモノニハ皿鉢等ヲ置クコト能ハス因リテ之ニ換フルニ各線及ビ各間ニ符ヲ置キ以テ余カ既ニ教授シタル音階ニ代ヘテ之ヲ使用スルナリ

〔教師特ニ此課ヲ教授シ生徒ヲシテ譜表ノ各線及ビ各間ヲ譜

記シ以テ誤謬ナク明瞭ニ其名稱ヲ答ヘ得ルニ至ラシメハ異日樂譜ヲ讀ムノ課ニ及ビテ大ニ易カルヘシ然ルニ若シ此練習ナキ生徒ヲシテ樂譜ヲ讀マシメハ必ズ錯亂シテ明ニ之ヲ讀ムコト能ハサルハ猶讀方教授ノ法宜キヲ得サルヨリ誤讀ノ弊習ヲ生スルト一般ナルヘシ

第七教

(ト)字記號及ビ其音階ニ就キテノ六音ノ教授法

師云 汝等譜表ノ首端ニ通常左ノ記號アルヲ見タルヘシ



〔教師此記號ヲ記ス〕

余ノ此ニ記シタルハ余等カ譜表ニ就キテ唱ヒ始メントスルモ其音階ノ第一音トスル(ト)ノ高度ヲ示スモノナルカ故ニ之ヲ(ト)字記號ト云フナリ

音階高度ノ説明

師云 音階ノ名稱ハ(ト)ノ高度ニ基ツクモノナリ既ニ余カ教授セシ音階ニ於ケル(ト)ノ高度ハ即チ(ト)ナリ故ニ之ヲ名ヅケテ(ト)ノ音階ト云フ汝等既ニ其音ニ就キテ始初六級ノ音度ヲ學ヒタレドモ余復タ譜表上ニ其音階ヲ記シテ以テ之ヲ詳ニセントス

1ト 2イ 3ロ 4ハ 5ニ 6ホ 6ホ 5ニ 4ハ 3ロ 2イ 1ト
トイロハニホホニハロイトナ

(ト)ノ音階ニ於ケル始初ノ六音

師云 汝等此圖ヲ熟視シテ譜表ノ各線及ビ各間ノ音階ニ代用ス

生徒ノ既ニ學習シタル教課ノ再閱

師云 汝等世人ノ唱歌スルヲ聽キテ教ヘズ習ハザレドモ既ニ二三ノ歌曲ヲ歌ヒ習ヒシコト恰モ成人ノ談話ヲ聽キテ稚兒ノ言語ヲ覺ユルカ如シ之ニ加フルニ余カ教授セシヲ以テ唱歌集及掛圖初編第一葉ノ如キ音階ヲモ亦上下轉唱スルニ至リタリ

又唱歌集及掛圖初編第二葉ニ就キテハ汝等皆左ノ課目ヲ學ヒタリ

第一、長短ノ符

第二、小節ノ縦線及ヒ併合ノ縦線

第三、長短ノ休止

第四、(ハ)ノ音階ニ於テ八音ノ階名及ヒ調名

第五、譜表中各線及ヒ各間名稱ノ速答

第六、(ト)字記號及ヒ其意義

第七、譜表上(ハ)ノ音階中八音ノ位置

〔此時教師掛圖ヲ掲ケテ上ノ數件ヲ指示シ生徒ノ既ニ學ヒタル所ノモノニ就キテ之ヲ試問スヘシ〕

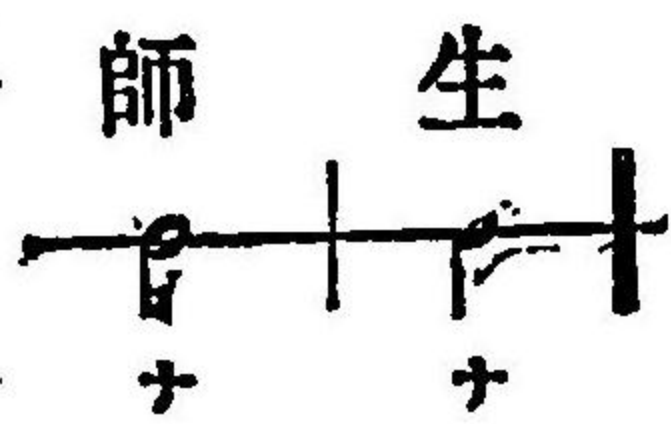
〔今マ次教ニ進ミ遷ラントスルニ先ケテ爰ニ余ハ各教員ノ心中ニ感銘セシメント望ムコトアリ即チ生徒ニ掛圖ヲ示ス前ニ黑板上ノ教授ヲ施スヘキノ一事ナリ而シテ其順序ハ第一、教授ヲ施ス事、第二、模範ヲ示ス事、第三、練習ヲ行フ事是レナリ

凡ソ掛圖ヲ用フルノ旨ハ當初ヨリ分析シ漸々次ヲ逐ヒテ教授シタル數課ヲ一ニ約束レ容易ク之ヲ正則上ニ實行スルコトヲ得テ以テ教授時間ヲ省節スル便ニ取ルモノトス

第八教

唱符ノ習學

反覆ノ記號



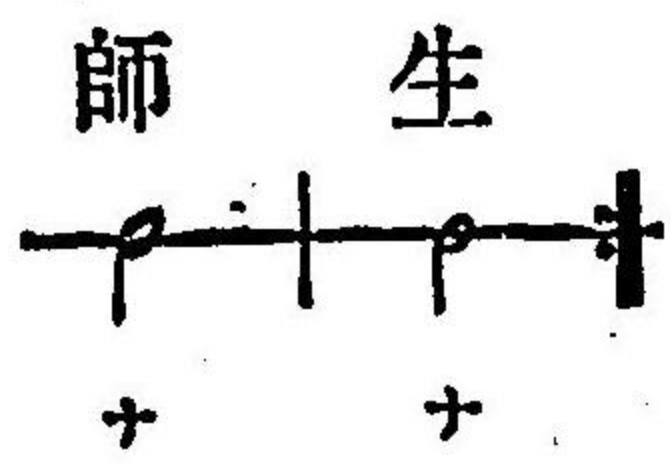
〔教師上圖ノ如ク記ス〕

師云 余カ此ニ記シ、大ナル長音符ハ師ノ唱フ所ニシテ小ナル長音符ハ生徒ノ唱フ所ナリ故ニ余カ其大ナルモノヲ唱フ時汝等審ニ聽キテ余カ爲シタル如クニ其小ナルモノヲ正唱セヨ

〔教師及ヒ生徒各ニ回之ヲ唱フ〕

師問 今マ此符ヲ唱ヒシコト幾回ナルカ

生答 二回ナリ

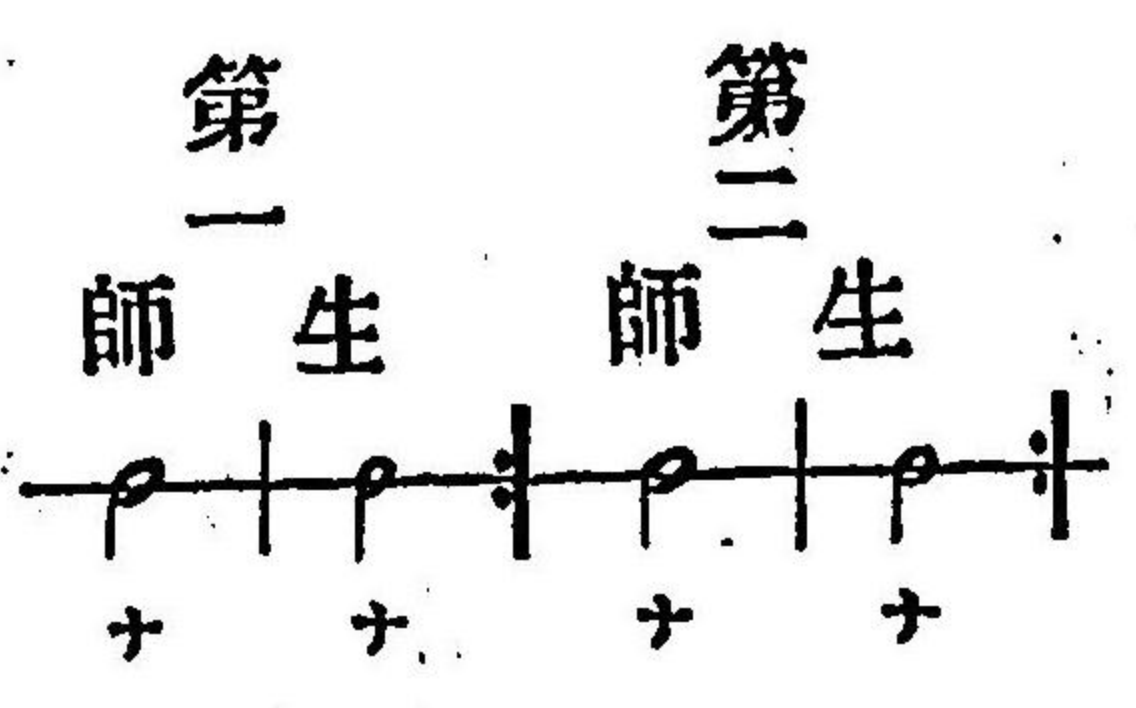


〔教師反覆ノ記號ヲ置クコト上ノ如クス〕

師云 余今マ併合縦線ノ前ニ近接シテ二個ノ點ヲ記セリ是レニ

回覆唱スヘキ記號ナリ故ニ音樂上之ヲ名ツケテ反覆ノ記號ト云

唱音強弱ノ差別



〔教師上圖ノ如ク記ス〕

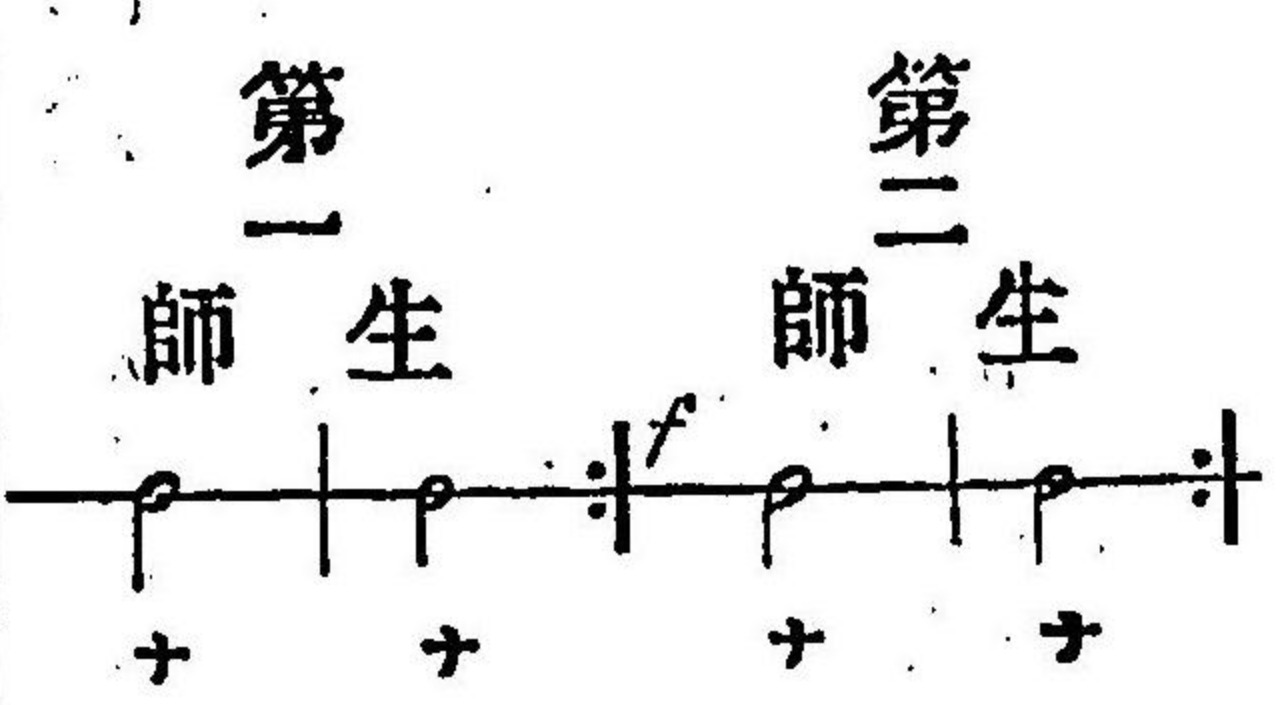
師云 余カ此ニ記載セシ二課ハ各其終尾邊ニ二個ノ點アルヲ以テ二回覆唱スヘキモノトス而シテ余ハ教師ノ符ヲ指シテ之ヲ唱

ハントス生徒ノ符ヲ指スル汝等モ亦之ヲ唱フヘシ

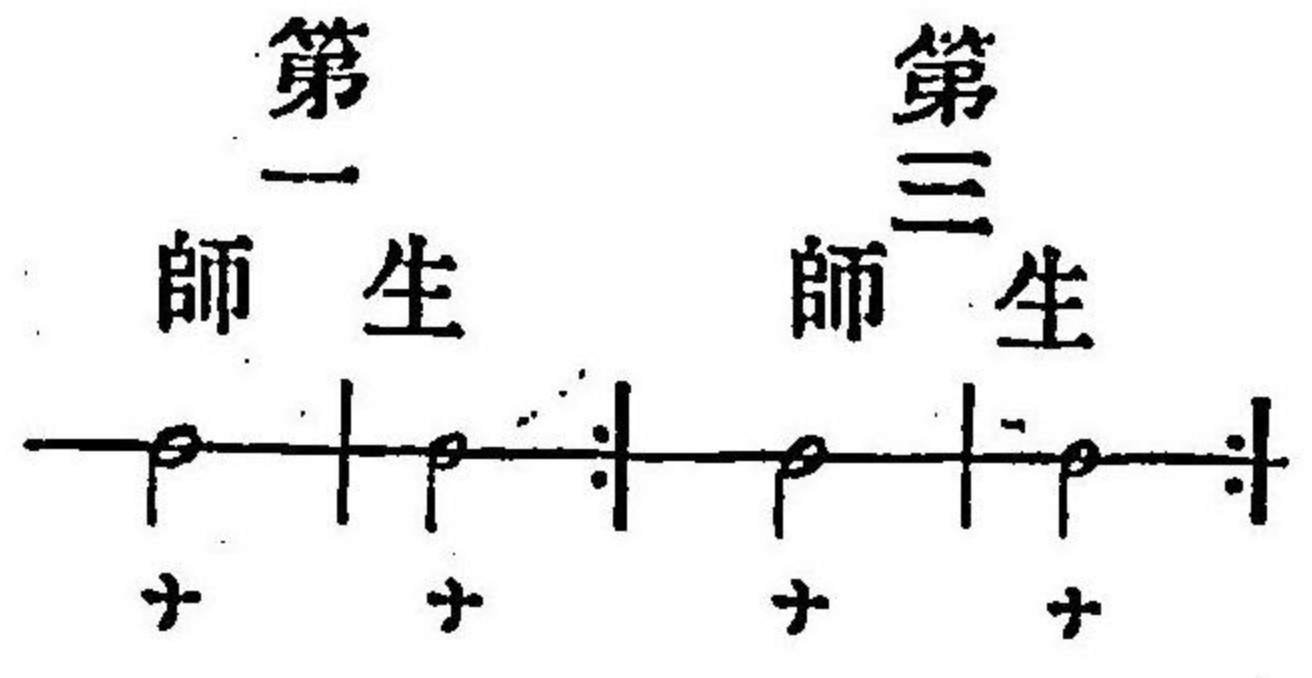
〔此二課ノ第一ハ (mf) 後ニ解ニ唱ヒ第二ハ (f) 上ニ唱フナリ〕

師問 汝等此二課ノ唱音中違フ所アルヲ聴キタリヤ
生答 然リ第二課ニ於テ唱音強シ

〔此時教師第二課ニ (f) ナ記スルコト左ノ如クス〕



師云 符上ニ(ノ)字ノ記スルヲアルヲ見ハ其唱音極メテ強ナリト知ルヘシ



[此時教師復々上ノ如ク記ス]

師云 余更ニ二課ヲ記載シ其新ナルモノニ第三ノ番號ヲ附セリ之ニ因リテ汝等必ス第一課ニ次キテ此課ヲ唱フニ如何ナル音聲

以テスベキカヲ思考セン

[教師生徒ト共ニ輕弱ナル音聲ヲ以テ此第三課ヲ唱フ]

師問 第三課ノ唱音第一課ニ違フ所如何

生答 第三課ハ弱ナリ

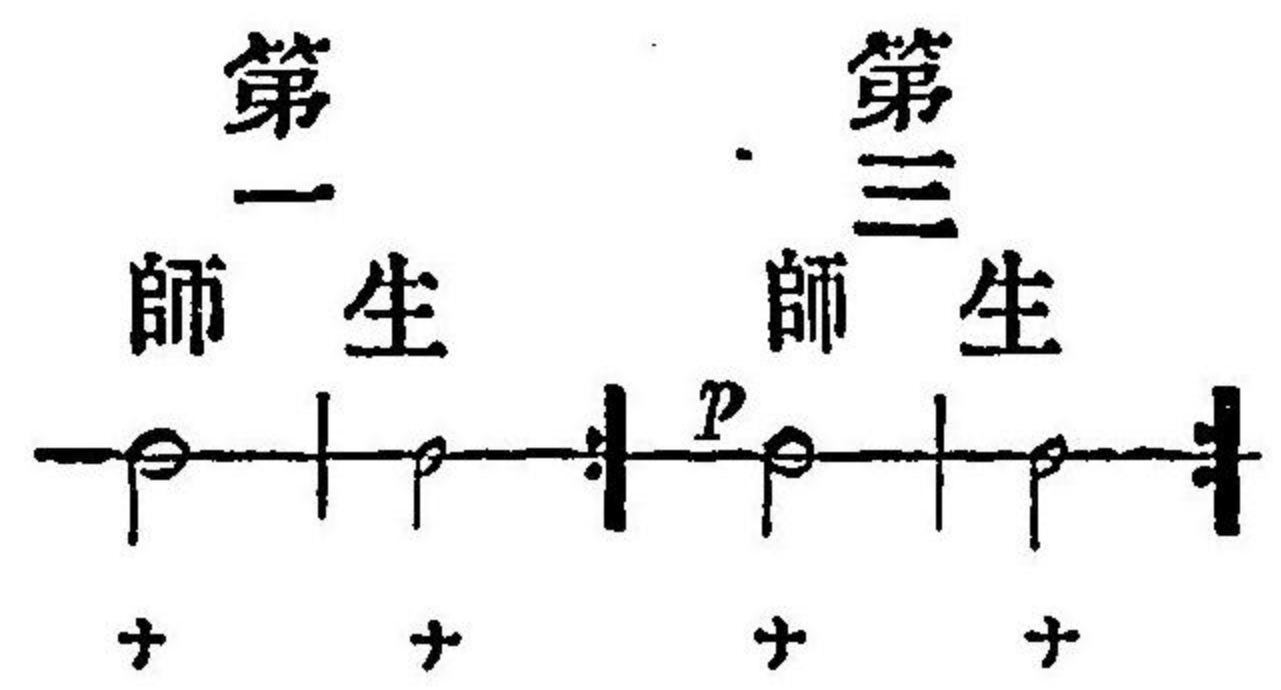
師云 然リ、輕弱ニ唱フヘ

キ符ハ其上ニ(p)字ヲ記附

セリ

[此時教師(p)字ヲ記ス

ルコト左ノ如クス]



師問 第二課及ヒ

第三課ハ之ヲ唱フ

ニ何ノ音聲ヲ以テ

スヘキノ記號アレ

ドモ第一課ニ於キ

テハ之ニ附スヘキ

記號アルコトナシ而シテ余等前ニ之ヲ唱フニ如何セシカ
 一生答 我能ク之ヲ知レリ、通常ノ音聲ヲ以テセリ
 師云 汝ノ答フル所實ニ然リ、第一課ノ如キ一ノ記號ヲキモノハ
 余カ既ニ教授シタル (*f*) (*p*) ノ如キ強弱ノ記號ヲ附セサル歌曲ヲ唱
 フト等シキ音聲ヲ以テスルナリ、若シ一生徒ノ答ノ如ク通常音ナ
 ルヲ示サントスル時ハ中等音ノ意ナル (*mf*) ノ記號ヲ使用ス、而シテ
 汝等符號ニ據リテ唱音強弱ノ差別ト兼テ三ノ教課ヲ實地練習シ
 得ルニ至レリ

第九教

前教實地ノ練習

前教ノ教課ハ生徒ヲレテ第二教及ビ第三教ノ意ヲ追想セシムル
 ノ益アレハ尙ホ生徒ニ音樂ノ一小節トスヘキモノヲ問ヒ而シテ
 善ク之ヲ練習セシムヘシ
 前教課ハ生徒ヲシテ此課ノ符ハ皆音階第一音度ニ位セルヲ會得
 セシムルニ足ルヘシ
 又此課ヲ教フルキハ必ズ生徒ヲシテ其拍子ヲ拍タシムルコト莫
 カルヘシ
 第四課、第五課、第六課ニ在リテハ音階中最初ノ二音度ヲ使用ス而
 シテ黑板ニ書シテ此教課ヲ授ケントスルキハ必ズ左圖ノ如ク第
 四課及ビ第五課ノ譜下ニ調名ト共ニ階名ヲモ亦併セ記スヲ可ト
 ス

第四 第五 第六

1 2 1 2 2 1 2 1 ナルヤチスズ
トイ トイ イト イト なくやちどり

〔此第六課ニ就キテハ教師左ノ如キ條目
ヲ問フヘシ〕

師問 〔第六課ヲ指シテ〕此課ニハ小節ノ區分幾許アルカ

生答 四アリ

師問 第一小節ノ符ハ如何

生答 (ト)字ノ短音符二個ナリ

師問 第二小節ノ符ハ如何

生答 (イ)字ノ短音符一個ト短休止符一個ナリ

師問 第三小節ハ如何

生答 (イ)字ノ短音符二個ナリ

師問 第四小節ハ如何

生答 (ト)字ノ短音符一個ト短休止符一個ナリ

師問 兩(ヤ)字ノ調ハ如何

生答 (イ)字ノ調ナリ

師問 (だ) 及 (ひ) 字ノ調ハ如何
生答 (ト) 字ノ調ナリ

師云 某ハ此課ヲ唱フヘシ

〔某生左ノ如ク之ヲ唱フ〕



〔此時生徒數名揚手ス〕

師他ノ一生ニ間 彼ノ音調ハ如何

一生答 彼ハ兩(や)字ヲ誤唱セリ

師問 彼レハ之ヲ何ノ調ニ唱ヒタルカ

一生答 (ト) 字ノ調ニ唱ヒタリ

師問 何ノ調ヲ以テ適セリトスヘキゾ

一生答 (イ) 字ノ調ナリ

師云 汝此課ヲ唱フヘシ

〔此一生徒ハ正雅ニ之ヲ唱フ〕

第十教

音階三音度ノ教授法

(ト) 字音階ニ於ケル初階三音度ノ教課ハ教師先ツ黑板ニ就キテ善ク之ヲ教授シ幼童ヲシテ譜表上何レノ地位ニ其符ヲ記スヘキヲ速ニ答ヘ得ルニ至ラシムヘシ其教授ノ法左ノ如シ

1, 2, 3 - 1, 2, 3 - 3, 2, 1 - 3, 2, 1, -

1, 3, 2 - 1, 3, 2 - 2, 3, 1 - 2, 3, 1 -

〔唱歌掛圖初編第二號及ビ唱歌集初編第一葉裏〕ニ出セル數字ニ據リテ善ク此課ヲ練習セシメハ生徒自ラ其理ヲ解レテ數字ノ右下ニ界點アルハ短音ニ唱ヒ右側ニ橫線アルハ長音ニ唱フベキコトヲ會得シ且我カ石盤上ニモ符號ヲ以テ前課ヲ記載シ得ルニ至ルヘシ此時教師ノ口授セントスル所モ亦此記譜ノ方法ナリト雖モ教師ハ暫ク生徒ノ演フル所ニ從ヒテ黑板ニ之ヲ記載スルコト左ノ如クスルヲ可トス

師問 余ガ既ニ數字ヲ以テ黑板上ニ記載シタル教課ヲ符ニテ記セントスルキハ先ツ何ノ法ヲ以テ記スヘキゾ

生答 師先ツ譜表ヲ畫クベシ

〔此時教師譜表ヲ畫ク〕

師問 其次ハ如何スヘキゾ
生答 (ト)字記號ヲ記スヘシ

〔教師其記號ヲ記ス〕

師問 其次ハ如何スヘキカ

生答 (2)ノ數字ヲ記スヘシ

師問 其レハ何故ナルカ

生答 一小節二拍子ナルカ故ナリ

師問 (2)ノ數字ヲ記シテ正ニ然リ、而シテ第一小節ニハ如何ノモ
ノヲ記スヘキゾ

生答 (トイ)ノ二短音符ヲ記スヘシ

師問 〔其二音符ヲ記シテ〕第二小節ニハ如何スヘキゾ

生答 (ロ)字ノ一長音符ヲ記スヘシ

師問 〔其一音符ヲ記シテ〕次ノ二小節ニハ如何スヘキカ

生答 今マ記シタル前二小節ノ如クスヘシ

師云 〔其符ヲ記シ終リテ〕汝等今マ余ニ此四小節ヲ記スル方法ノ

如何ヲ示シタリ之

ニ因リテ余ハ汝等

カ其四小節ヲ唱ヒ

得ルヤ否ヤヲ聽查

セントス

師 生

1, 2, 3- 1, 2, 3-
ト イ ロ ト イ ロ

師 生 師

3, 2, 1-3, 2, 1-1, 3, 2-
ロ イ ト ロ イ ト ト ロ イ

生 師 生

1, 3, 2-2, 3, 1-2, 3, 1-
ト ロ イ イ ロ ト イ ロ ト

〔此時教師生徒ト共ニ一小節ツ、互ニ此譜ヲ練唱スルヲ最良ノ法トス教師若ハ(ハ)(ニ)(ホ)等ノ調名ヲ用ヒントスルトキハ特ニ注意シテ此課ノ(ト)調ニ起ルコトヲ忘ル、コトナカルヘシ但シ嬰(ヘ)ハ未タ教課ニ用フルニ至ラサルカ故ニ嘗テ譜表上ニ顯ハル、コトナシ

又教師ハ此機ニ際シテ唱歌掛圖及ビ唱歌集初編第二第三ノ歌曲練習ヲ授クヘシ然ルキハ「1」ヨリ「3」ニ至ル轉唱ハ教師ノ最モ意ヲ用フヘキ所ナリ

音階四音度ノ教授法

〔音階四音度ノ教課モ亦先ツ教師黑板ニ記シテ之ヲ練習セシ

△其法左ノ如シ

1, 2, | 3, 4, | 3, 4, | 3, 2, |
1, 2, | 3, 4, | 3, 2, | 1 —||

此ノ如ク數字ニ據リテ之ヲ唱ヒ而

シテ後ニ之ヲ譜表ニ記スルコト左ノ如クス

1, 2, 3, 4, 3, 4, 3, 2, 1, 2, 3, 4, 3, 2, 1—
トイロハロハロイトイロハロイト

教師生徒ノ能ク此課ヲ修メ得タリト認メナハ直ニ他ノ相當ナル教課ノ練習ニ進ムヘシ蓋シ生徒モ亦嘗テ唱音口授ノ練習ヲ經テ此課ニ馴ル、コ

ト久シクバ必ス其譜ヲ學ハンコトヲ希望スヘシ彼ノ有名ナル教育家カリー氏ノ言ニ「凡ソ小兒ノ知識ヲ得ルニハ耳目相誘ヒテ之ニ赴クモノナリト」此教課ヲ授クルニ當リテハ耳ヲ以テ常ニ先導者トナシ眼ヲシテ親ク之ニ隨ハシムルノ要訣ヲ忘ル、コト勿レ

生徒等數字ニ據リテ三四曲ノ歌ヲ唱フコトヲ得ルニ至ラハ其譜表ヲ與フルモ亦必ス之ヲ唱ヒ得ヘシ故ニ其始ノ四小節ニ熟練シタリト認定セハ更ニ進ミテ唱譜ノ教課ヲ授クヘシ

高度ノ思想ヲ興起セシムル口述

師云 余等ノ唱歌スルハ常ニ高度ノ稱ヲ使用スルハ其意他ナシ

即チ音階ノ級等ニ從ヒテ高低上下ニ轉唱スルヲ指スナリ之ニ因リテ余今マ汝等ニ其發唱スヘキ高度ノ一音ヲ示サン汝等亦其一音ヨリ發唱シテ音階ヲ唱上スヘシ其際ニ音調錯亂スル過アラズハ果シテ各階逐次ニ音聲ノ高昇スルヲ了知スルニ至ラン

〔此時生徒皆チ音階ヲ熟唱シテ竟ニ高度ノ名義ヲ解スルニ至ルベシ〕

師云 余今マ高度ノ名義ヲ説キ汝等モ亦其説ク所ニ從ヒテ之ヲ唱ヒタリ然レモ余未タ各音ニ固有ノ高度アルコトヲ説カス今マ之ヲ説カントスルニハ各音ヲ記スルニ文字ヲ以テセズンハ有ルベカラズ其文字ヲ指シテ調名ト呼フハ即チ是故ナリ既ニ洋琴及ビ風琴ノ壓板モ各其高度ヲ異ニシタレバ之ニ名ヅクルニ皆チ文

字ヲ以テスルナリ是レ亦以テ其義ヲ知ルニ足ルベシ

第十一教

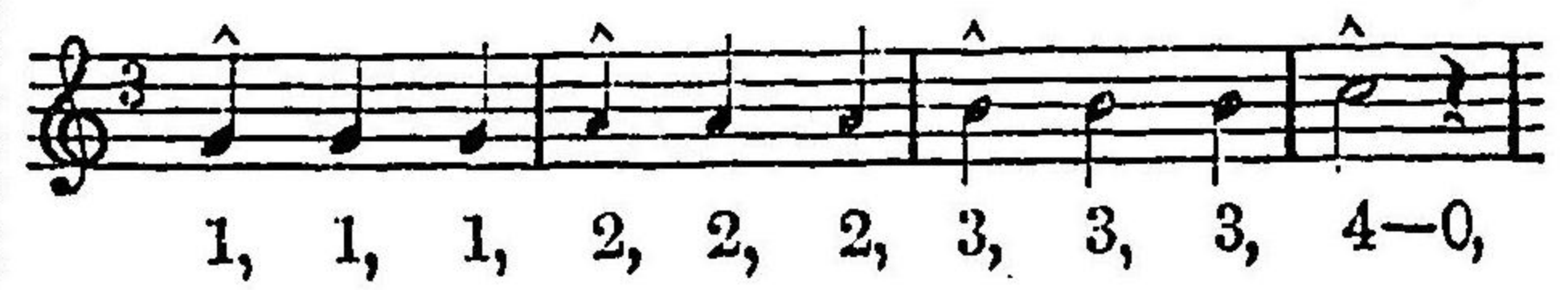
三拍子即奇教小節ノ豫教

〔教師左ノ教課ヲ授ケントスルニ當リテ之ヲ黑板ニ記スルニ或ハ數字ヲ以テシ或ハ樂譜ヲ以テスヘシ但數字ニ據リテ此課ヲ授ケントスルニハ生徒ヲシテ(0)後ニ横線アルハ長休止ノ記號ニシテ界點アルハ短休止ノ記號ナルコトヲ會得セシムルヲ要ス且(ハ)ノ記號ヲ施セルハ又一小節中聲力至強ノ部分タルコトヲ示諭スヘシ〕

師問 余カ今記セントスル教課ノ第一小節中ニ「1」字幾許アル

カ之ヲ告ケヨ

〔此時教師教課ヲ記スルコト左ノ如クス〕



生答 三アリ

師問 第二小節ニハ何如

生答 「2」字三アリ

師云 然リ余今汝等ノ此課ヲ唱フヲ聽クニ皆自然ニ各小節ノ始首ニ聲力ヲ附シタリ是レ自然ノ致ス所ナリ汝等更ニ唱ヒテ其然ルヲ知レ

〔此時全級正シク之ヲ唱フ〕

師問 汝等何ノ部分ヲ強唱セシツ

生答 始首ノ部分ヲ強ク唱ヒタリ

師問 第二、第三ノ二部ハ如何セシツ

生答 弱ク唱ヒタリ

師云 余又三拍子ノ小節ヲ二回数ヘントス

〔此時教師ハ(一)(二)(三)(一)(二)(三)ト數フ〕

師問 余今各小節ヲ數フルニ當リ何レノ部分ニ力ヲ入レタルカ

生答 師ハ(一)ニ力ヲ入レタリ

師云 汝等余カ今ナセシ如ク此二小節ヲ數フヘシ

〔此時全級正シク其二小節ヲ數フ〕

師云 余ハ汝等既ニ小節ノ此新課ヲ修メ得タリト認ム故ニ余ハ更ニ汝等ヲシテ常ニ記憶セシメントスル二三ノ要件ヲ示サントス其目左ノ如シ

第一 二拍子ヲ以テ成ル小節ヲ偶數小節ト云ヒ三拍子ヲ以テ成ルモノヲ奇數小節ト云フナリ

第二 一小節中ニ於テ強聲ニテ唱フヘキ部分ヲ強聲部ト云ヒ其強聲ニテ唱ハザル部分ヲ弱聲部ト云フナリ

第三 樂譜及ビ歌曲ニ就キテ先ツ其小節ノ偶數ヲ以テ成リタルカ或ハ奇數ヲ以テ成リタルカナ知ルノ一法アリ若シ其曲ノ偶數小節ニ據リテ成レルハ之ヲ進行ニ用ヒ易ク奇數小節ニヨリテ成レルハ奏曲早急ナラズンバ之ヲ進行ニ用フルノ不便ヲ覺ユル所

アルニ因リテ容易ニ之ヲ察知スベシ
 汝等譜表ニ就キテ既ニ學ビタル諸課ヲ追思セハ一長音符ハ二短
 音符ト時間ヲ同シクシ一長休止符モ亦一長音符ト時間ヲ等シク
 シ一短休止符ハ一短音符ト時間ヲ一ニスヘキ理ヲ了知スルニ至
 ラン故ニ四分ノ三拍子ヲ以テ成レル一小節中ニ短音符三個ナル
 モノアラハ其最初ノ二個ヲ併セテ一長音トスルコトヲ得ヘシ然
 ルキハ其小節中ノモノ長音符一個ト短音符一個トナルナリ或ハ
 其長音符ヲ存シテ其一短音符ヲ一短休止符ニ換フルモ亦自在ナ
 ルコトヲ知ルヘシ

〔此時教師ハ相當ナル教課ヲ黑板ニ示スベシ而シテ (p) (mf) (f) ノ
 記號ヲ附セルモノ、練習ニ就キテハ教師最モ用意センコト

ヲ要ス

第十二教

2 [フー] 3 [ミ] 轉
 唱ノ教授法

第一

1, 2, 3-2, 3, 4-4, 3, 2-3, 2, 1-

第二

1, 2, 3-1-3-2, 3, 4-2-4-

4, 3, 2-4-2-3, 2, 1-3-1-

此譜表ハ轉唱ヲ有スル教課ヲ授クル前ノ豫教ナリ

〔此教課ハサシテ雅趣アルモノニハ非ザレドモ幼稚ナシテ勉メ
テ之ヲ學ハシメバ²〔⁷〕⁴〔⁷〕ノ二音ヲ記臆セシムルニハ大ニ
益アルヘシ其第二號ハ最モ然リトス而シテ教師此課ヲ授ケ
ントスルニ方リテハ先ツ生徒ヲシテ特ニ第三音ノ轉唱ニ意
ヲ用ヒシメ以テ尙ホ一層繁錯ナル教課ノ練習ニ進ムヘキナ
リ〕

第十三教

連結ノ教授法

左ニ記セルモノハ連結ヲ有スル教課ヲ授クル前ノ豫教ナリ



〔教師此譜ヲ黑板上ニ記シ其符ヲ指
シテ生徒ニ之ヲ唱ヒ聽カスベシ〕

師云〔連結ヲ有スル歌曲ヲ黑板ニ記シ且ツ之ヲ指シテ汝等今マ

一個ノ(ナ)字ヲ唱フニ(ト)(イ)ノ二音ヲ用フヘキコトヲ知レリ〔又連結記號ヲ指シテ〕二個以上ノ符號ノ上下ニ此記號ヲ附セルヲ見バ皆一連ノ音聲ヲ以テ唱フヘキ部分ト知ルヘシ故ニ此記號ヲ稱シテ連結ト云フナリ此時教師生徒ニ問フヘシ此教課中ニ幾許ノ連結アルカト

生答 何個アリ

〔此時教師ハ更ニ生徒ノ此記號ヲ會得スルヤ否ヤヲ試問シ而シテ其記號アル歌詞ニ注目シテ之ヲ唱ハシメンコトヲ要ス〕

第十四教

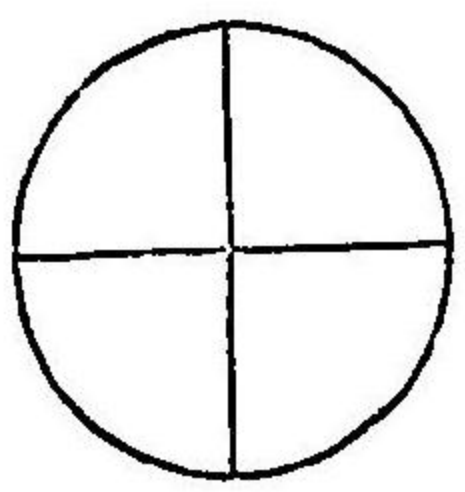
四分ノ四拍子ヲ以テ成ル小節及ビ其符號名稱ノ教授法



〔教師此ノ如ク唱ヒナガラ左ノ圓圈ヲ畫ク〕

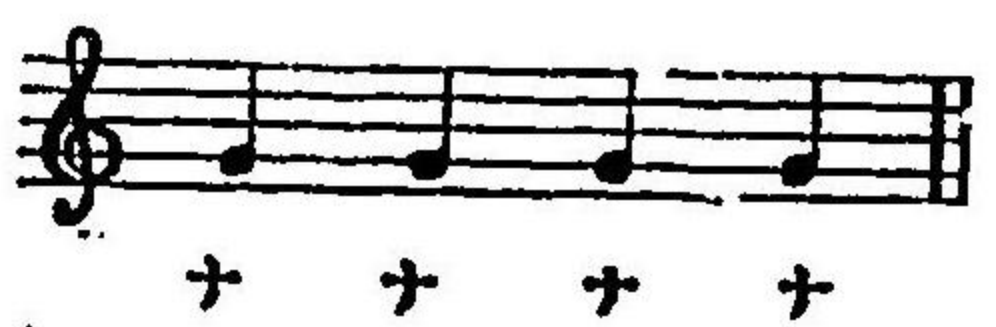
師問 余今マ此圓圈ヲ畫ガク間ニ(ナ)音幾個ヲ唱ヒタルゾ
生答 四個ヲ唱ヒタリ

師問 余此圓圈ヲ四部ニ分メン〔此時其分線ヲ畫ガクユト左ノ如クシテ〕此各部分ヲ何ント名ヅクルゾ



生答 四分一ト名ヅク

〔此時教師ハ其各部分ヲ指シテ更ニ左ノ如ク之ヲ唱フ〕

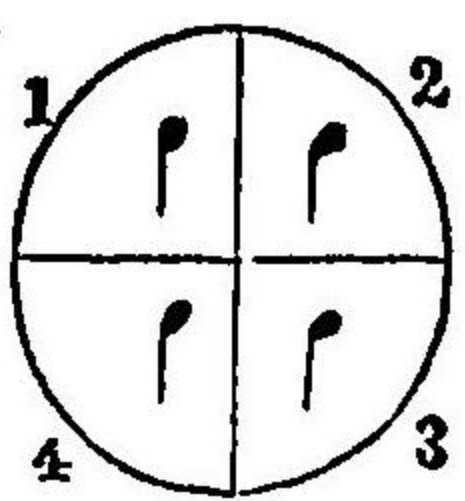


師問 余今マ此四分一ノ各部ヲ指シテ唱フニ如何ナル種類ノ音ヲ以テシタルガ

生答 短音ヲ以テセリ

師云 余此圓圈ノ各四分一部ニ悉ク一短音符

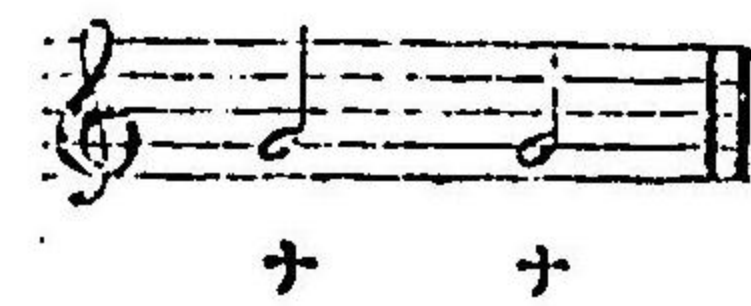
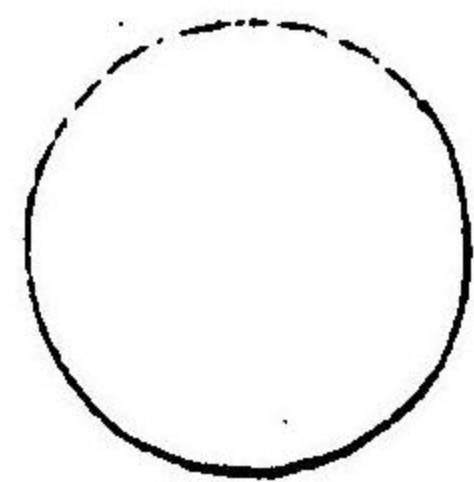
ヲ記セントス〔此時其各部ニ四分一ノ符ヲ記スルコト左ノ如クシテ〕余之ヲ短音符ト稱スル外ニ又一名ヲ附セントシテ希望ス汝等何ノ言ヲ用ヒテ之ニ適セリトスルゾ



生答 四分一ノ符ト名ヅケテ可ナリ

〔此時教師此圓圈ノ各四分一部ニ數字ヲ附スヘシ〕

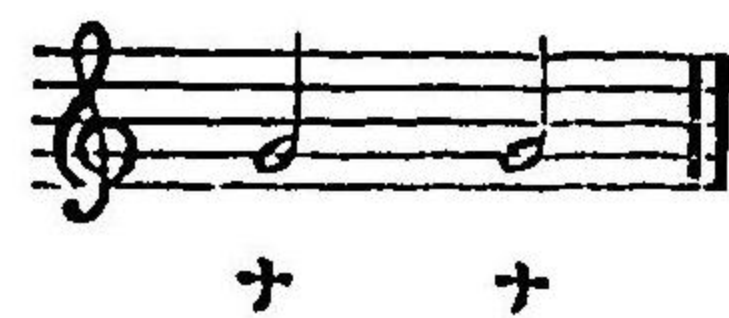
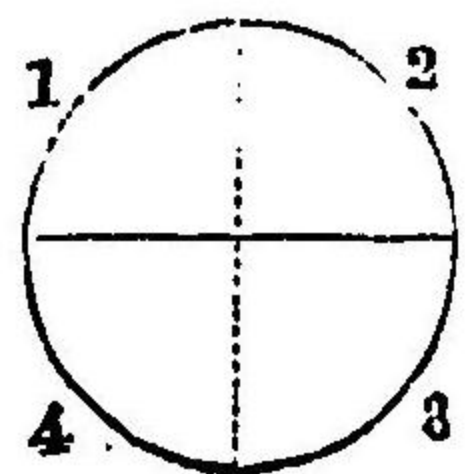
師云 余更ニ復タ他ノ圓圈ヲ畫ガクヘシ其畫ガキ終ル間ニ幾音數ヲ唱フカヲ數ヘテ余ニ之ヲ告ケヨ〔此時圓圈ヲ畫ガキナガラ唱フコト左ノ如クス〕



生答 二音ヲ唱ヒタリ
師問 長短何レノ音ナリシゾ
生答 長音ナリ

〔此時教師一水平線ヲ畫ガキテ

其圓圈ヲ上下ニ二分シ又其中心ヲ貫キテ鉛直ニ點線ヲ施シ之ヲ四分シテ左ノ如ク之ヲ指唱ス〕

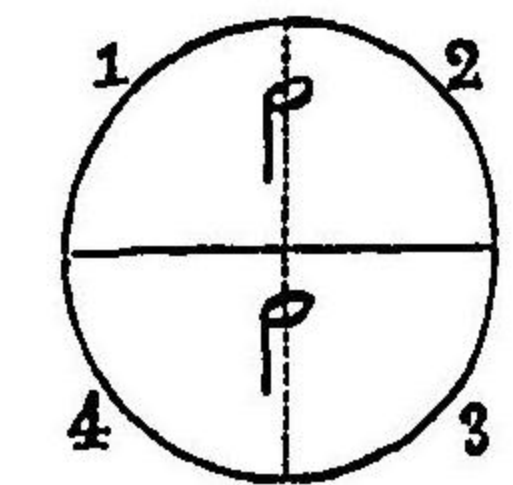


師問 余今マ此各長音ヲ唱フニ當リテ其一音毎ニ指杖ヲ回轉セシユト四分一部ノ幾許ヲ併スルニ至リタルカ

生答 四分一部ノ二ナリ

師問 然ラバ余其第一四分一、第二四分一ノ兩部ヲ截斷セル點線上ニ一個ノ長音符ヲ記セン〔此時教師左ノ如ク之ヲ記シ〕汝等若シ菓實又ハ他ノ圓體ノ物ニ就キテ四分一部ノ二個ヲ併セタル形狀ヲ云ハントスルニハ何レノ部分ヲ指メ以テ之ニ適セリトスルゾ

生答 其半部分ヲ以テ之ニ適セリトスルナリ



師問 善シ、然ラハ汝等此長音符ヲ呼フニ

何ノ名稱ヲ下サントスルゾ

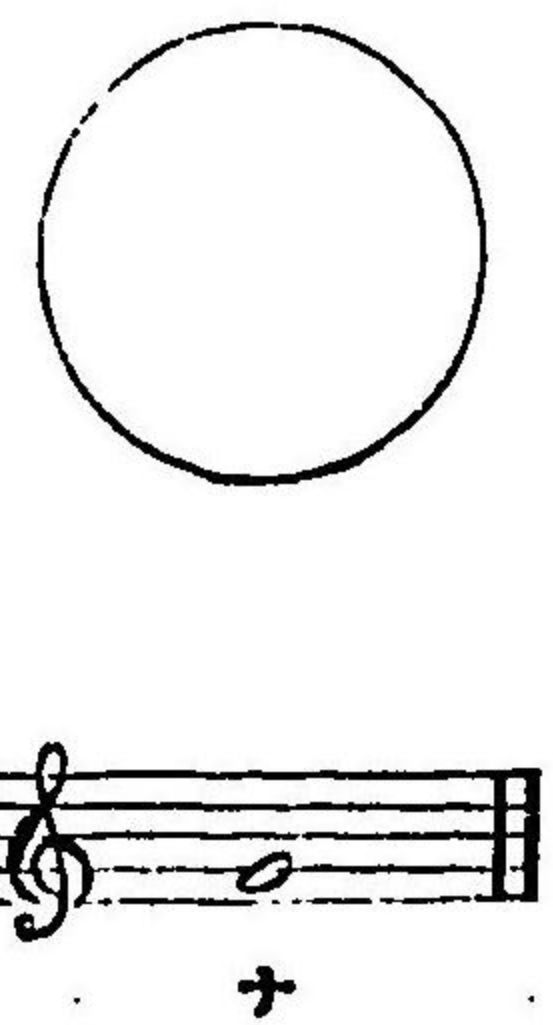
生答 半ノ符ノ名ヲ下サントス

師問 其半ノ符一個ヲ唱フニ四分一ノ符幾個ヲ以テ之ニ充ツヘ

キツ

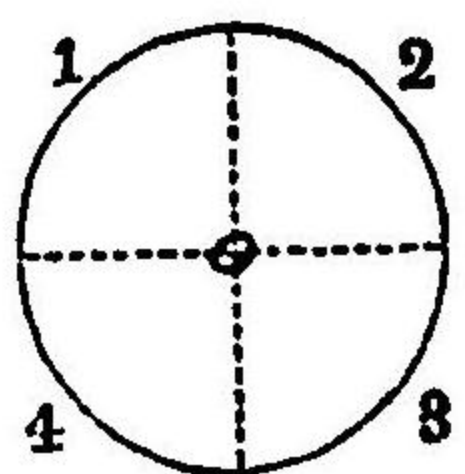
生答 二個ナリ

〔此時教師更ニ一圓圈ヲ畫ガキテ左ノ如ク之ヲ唱フ〕



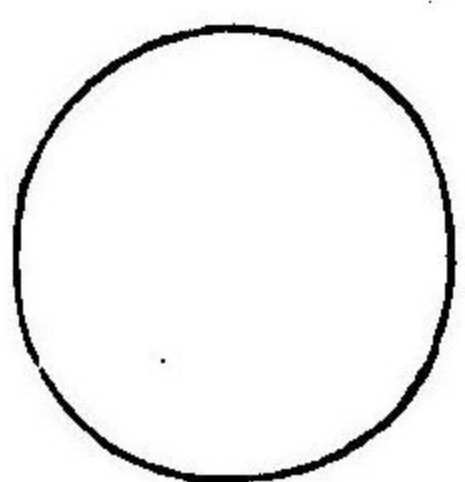
師問 余此一圓圈ヲ畫キナガラ幾許ノ音ヲ唱ヒタルカ
生答 一音ナリ

〔此時教師點線ヲ以テ此圓圈ヲ縱横ニ界シテ四分トシ而シテ
其中央ニ一ノ完全符ヲ記スルコト左ノ如クス〕



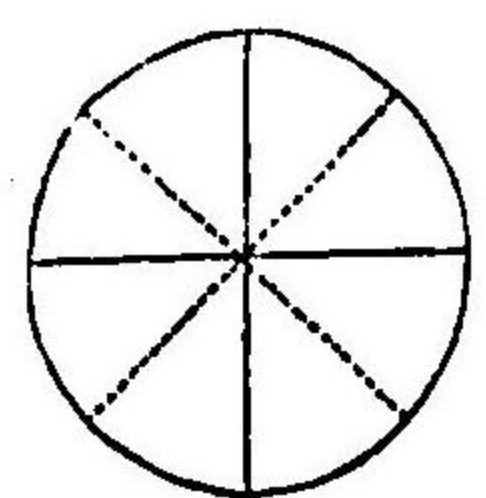
師云 此一符ハ一音ニシテ四分一ノ部分四個ヲ併セタリ而シテ
余既ニ第一圓圈ニ記シタル符ヲ四分一ノ符ト名ヅケ第二圓圈ニ
記シタルモノヲ半ノ符ト名ヅケタリ是レニ由リテ之ヲ見レバ此
符ニハ何ノ名稱ヲ附スルヲ以テ適當ナリトスヘキカ
生答 一ノ符即チ完全符ノ稱ヲ附スルヲ以テ適セリトス
師云 然リ汝等仔細ニ意テ此教課ニ用フルコト此ノ如クナルガ
故ニ余今マ更ニ一圓圈ヲ記シナガラ數音ヲ唱ハントス汝等果シ
テ余カ幾音ヲ唱ヒタリト告グルコトヲ得ヘシ

〔此時教師更ニ一圓圈ヲ記シナガラ左ノ如ク之ヲ唱フ〕



生答 七音六音八音九音ナリ
師云 余再ビ之ヲ唱ハン

〔此時教師左ノ如ク此圓圈ニ
縱横ノ直線ヲ施シテ之ヲ四
分シ次ニ斜十形ニ點線ヲ施
シテ之ヲ八分シ而シテ再ビ
之ヲ唱フコ
ト前ノ如ク
ス〕



生答 八音ナリ

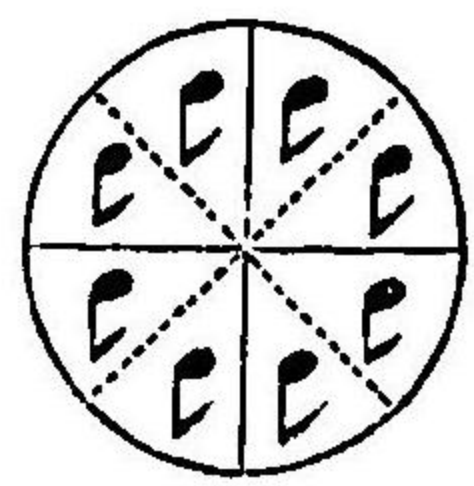
師云 然リ、余ハ各四分一部ニ二音ツ、ヲ唱ヒタリ余更ニ復タ之
ヲ唱ハン〔此時復タ前ノ如ク唱ヒテ〕汝等余カ此部分ヲ指スニ倣ヒ
テ各四分一部ニ二音ヲ唱フヘシ

〔此時生徒等正シク之ヲ唱フ〕

師問 此圓圈中同狀ニ區分シタル部分幾許アルゾ

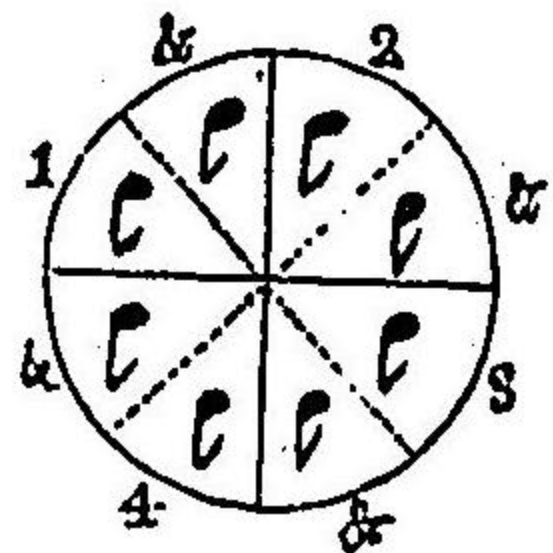
生答 八部分アリ

師問 余之ニ符號ヲ記スルニ其二個ヲ併セテ四分一ノ一部ニ當
ツヘキモノヲ以テセン〔此時其各部ニ八分一ノ符ヲ記スルコト左
ノ如クシテ〕誰カ余ニ此符ノ名稱ヲ告ケ得ル者アルゾ

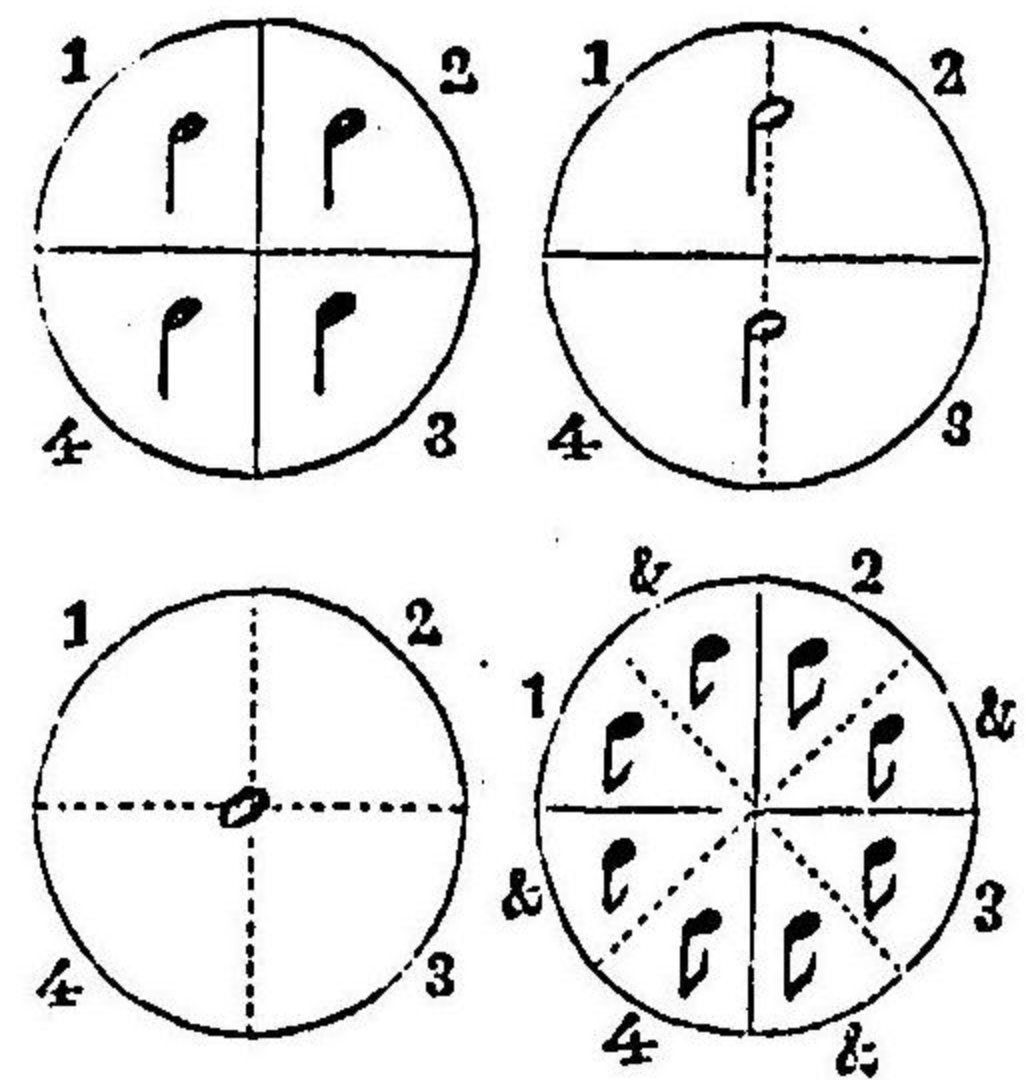


〔此時生徒若シ正シク之ニ答フルコト能
ハズバ教師之ヲ教フヘシ但シ此ノ如キ
ハ時間ニ有餘ナキ際ニ限ルベシ〕

師云 余ハ汝等ヲシテ此八分部ヲ言ヒ易カラシメントスル一良
法ヲ設ケテ以テ其名ヲ下サントス所謂其一良法トハ他ナシ抑此八
分部ハ四分一部ヲ二分シタルモノナレハ各四分一部ニ就キテ其
第一部ヲ呼フニ嘗テ第一圓圈ノ課ニ用ヒタル名稱ヲ以テシ其第
二部ニ(ε)ノ記號ヲ以テスルナリ〔此時之ヲ記スルコト左ノ如クシ
テ〕汝等既ニ符號ノ四種類ヲ了知スルニ
至レリ故ニ汝等ヲシテ其學ヒ得タル名
稱ニ據リテ此四種ノ符號ヲ呼ハシメン



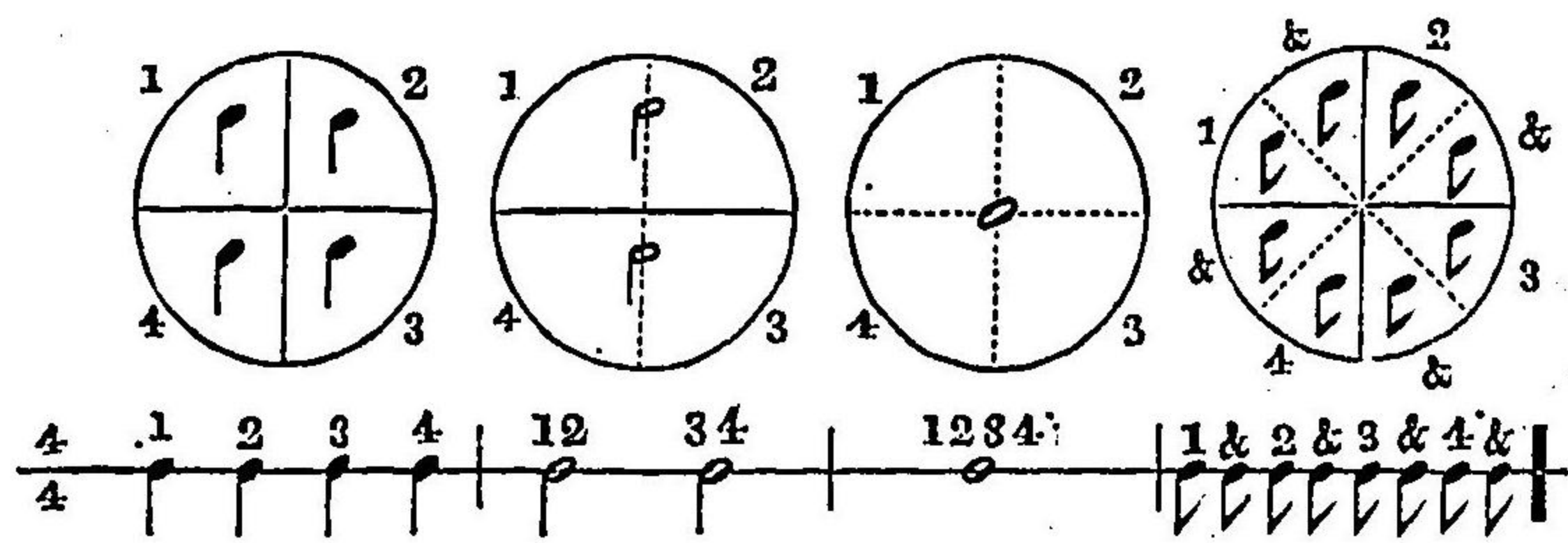
トス



〔教師此ノ如クスト雖モ猶ホ未
タ之ヲ會得セサルガ如クナラ
ハ生徒ヲシテ必ス此教課中ニ
二分一、四分一、八分一トハ如何
ノ物ヲ云フヘキカノ理ヲ了解
セシムヘシ蓋シ之ヲ教フルモ

亦猶ホ上件ノ如ク圓圈ヲ以テスル時ハ兼テ符號ノ長短ヲ
モ會得セシムルニ大ニ益アルモノトス〕

師云 余又此等ノ符號ヲ記スルニ圓圈ヲ用ヒス一條ノ直線ニ據



百十四

リテ之ヲ記セントス〔此時教師先ツ其圓圈下ニ一條ノ水平線ヲ畫キ且ツ上ノ各圓圈ヲ四分スルコト圖ノ如クシテ〕余今マ四分符ノ拍子ナルコトヲ示サンカ爲ニ此線ノ前端下ニ(4)字ヲ記シタリ又其線上ニ(4)字ヲ重記スルハ各小節ニ四分符四個ヲ置クカ否ラズンハ長短之ニ適スヘキ他ノ符號ヲ以テスヘキコトヲ示サンカ爲ナリ此ノ如クスレハ此各圓圈ノ符號皆一小節ト成ルナリ

之ニ因リテ余又問ハン此一小節中ニ幾許ノ四分符アルカチ

生答 四個アリ

師問 〔第二小節ヲ指シテ〕此ニハ二分符幾許アルゾ

生答 二個アリ

師問 〔第三小節ヲ指シテ〕此ニハ完全符幾許アルゾ

生答 一個アリ

師問 〔第四小節ヲ指シテ〕此ニハ八分符幾許アルゾ

生答 八個アリ

〔此時教師此各圓圈下ニ其圓圈中ノモノト同一種類ノ符號ヲ記シ或ハ之ニ比適スヘキ諸種ノ休止符ヲ記シテ之ヲ教授シ而シテ更ニ四個ノ圓圈ヲ記シ之ヲ四分スルコト復タ前ノ如

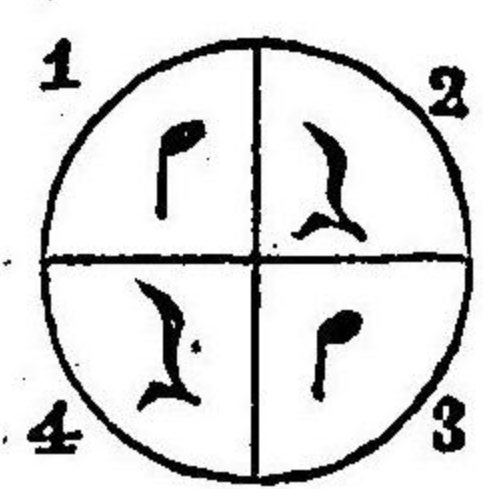
クシテ此第一圓圈ヲ指シナガラ左ノ課ニ進ムヘシ
師云 汝等切ニ聽キテ余カ何ノ部ニ唱ヒ何ノ部ニ唱ハサリシカ
ヲ言ヘ

〔此時教師第一四分圓圈ノ第一部及ヒ第三部ヲ唱フ〕

生答 師ハ第一、第三ノ兩部ニ唱ヒ第二、第四ノ兩部ニ休止セリ

師問 然ラハ此圓圈各四分一部ニ何ノ符號ヲ記スヘキゾ

生答 第一、第三ノ兩部ニ四分符ヲ記シ第二、第四ノ兩部ニ四分休
止符ヲ記スヘシ



〔教師之ヲ記ス〕

師問 第二ノ圓圈ニ於テハ余カ何ノ部ニ唱ヒタルカナ告ケヨ

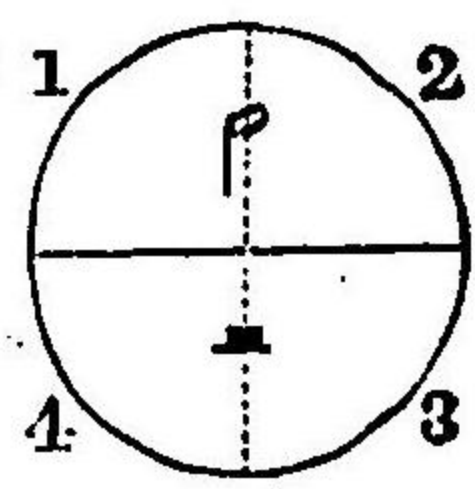
〔此時教師其圓圈ヲ指シテ上半即チ四分一部二個ニ當ル者ヲ

一唱シ下半即チ四分一部二個ニ當ル者ニ休止ス〕

生答 師ハ上半部ヲ唱ヒ下半部ニ休止セリ

師問 然ラハ之ニ何ノ符號ヲ記スヘキゾ

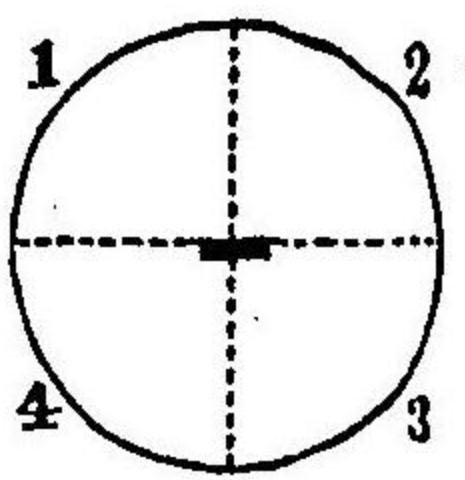
生答 圓圈中上半部ニ二分符一ヲ記シ下半部ニ二分休止符一ヲ
記スヘシ



〔教師符號ヲ記スルコト圖ノ如クス〕

師云 〔第三圓圈ノ中央ニ完全休止符ヲ記スルコト左ノ如クシテ〕

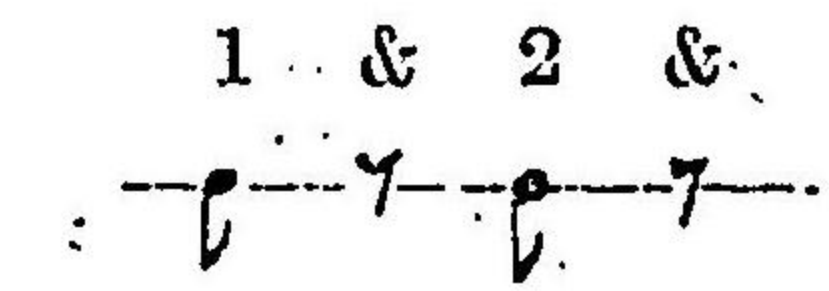
此ハ完全休止符ナリ、但シ此符號ハ常ニ其属スル所ノ譜表線ノ下方ニ向ヒ二分休止符ハ常ニ其線ノ上方ニ向ヘハ詳ニ之ヲ識別スヘシ



〔教師之ヲ記ス〕

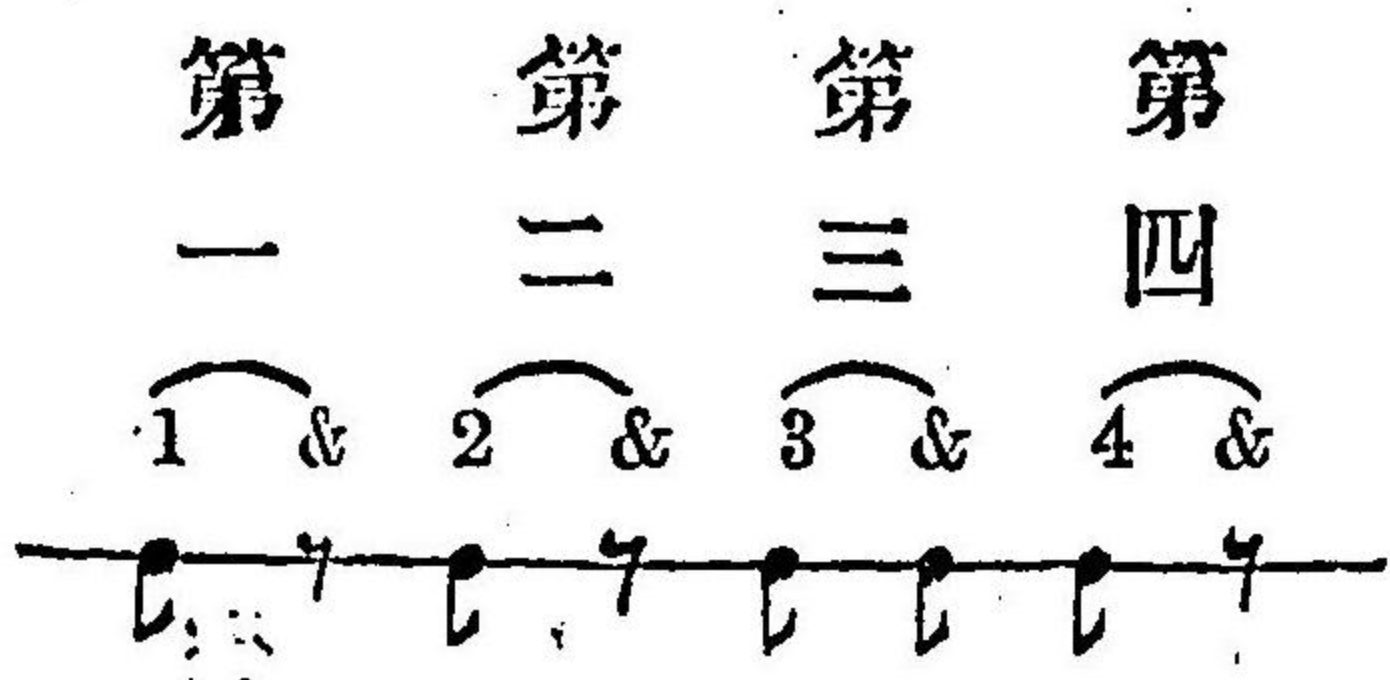
師云 余又上半二個ノ四分一部ニ於テ何ノ部ニ唱ヒ何ノ部ニ休止スルカ汝等聽查シテ之ヲ言ヘ〔教師左ノ如ク唱フ〕

生答 師ハ(1)及ヒ(2)ニ唱ヒテ各(&)ノ記號ニ休止セリ



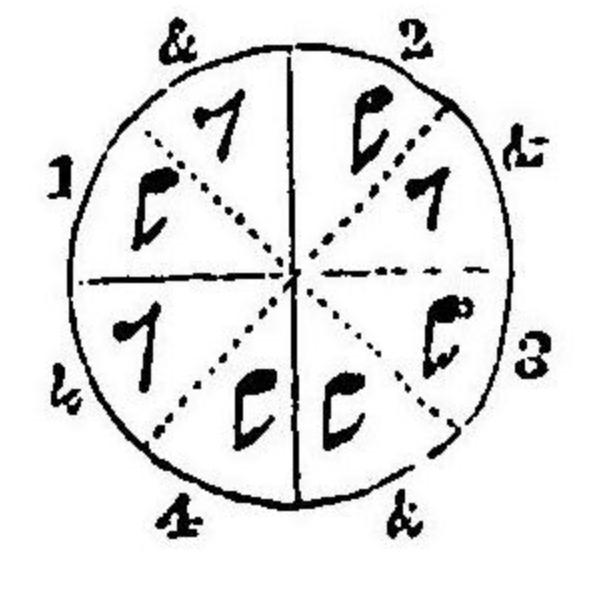
師云 余今マ其唱ヒタル部ニ八分符ヲ記シ其休止セシ部ニ八分休止符ヲ附セントス〔此時之ヲ記シテ〕

余更ニ復タ此圓圖ヲ廻ラシ唱ハン汝等ヨク意ヲ用ヒテ余カ此第三、第四ノ兩四分一部ニ於テ如何スルカナ見ヨ〔此時教師左ノ如ク唱フ〕



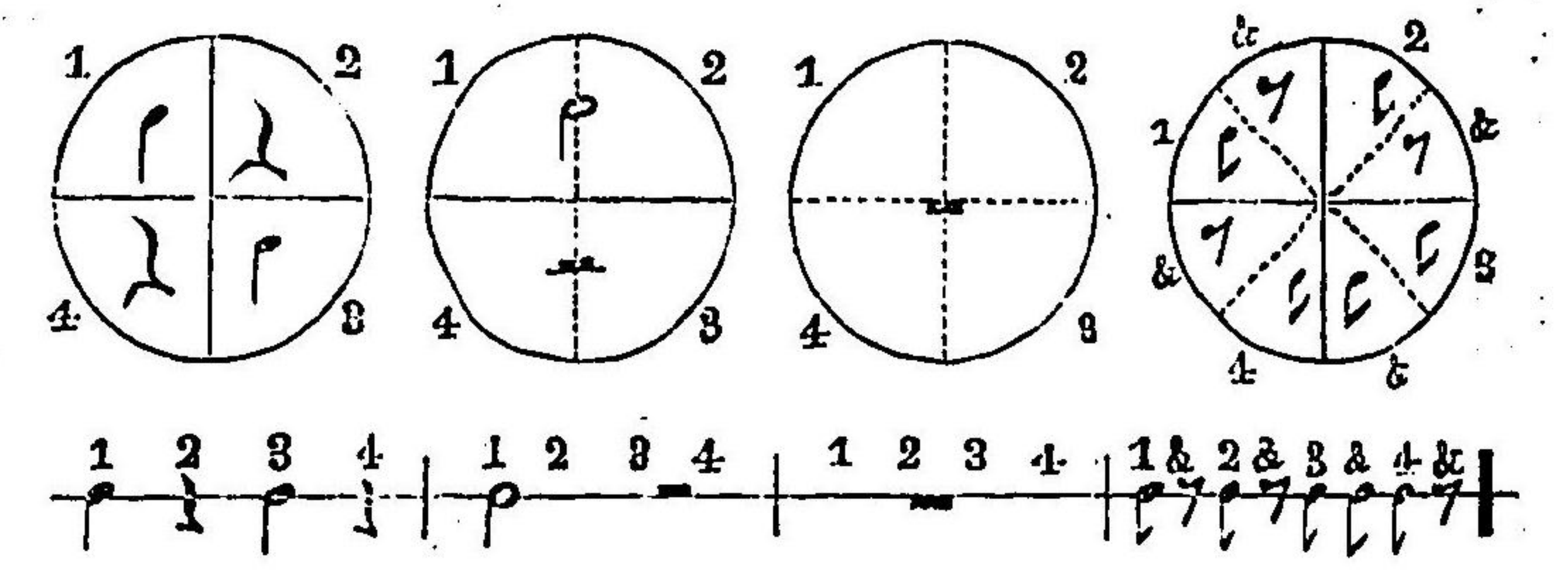
生答 師ハ第三四分一部ニ於ケル二部及ヒ第四四分一部ニ於ケル第一部ニ唱ヒテ其第二部ニ休

止セリ



〔教師第四圓圈ニ符號ヲ記スルコト此ノ如クス〕

〔前ニ四圓圈ヲ畫キテ教ヘシ如ク此課モ亦其休止符ヲ水平線上ニ記シ而シテ後之ヲ練習セシムルヲ可トス、此時生徒ヲシテ此拍子ヲ數ヘシムルニ唱符ニハ強音ヲ以テシ休止ノ符ニハ微音ヲ以テセシムルヲ要ス、之ヲ練習セシムルコト此ノ如クナル時ハ次ノ教課ニ進ムニ先ダテ生徒等必ス唱休種々ノ符號ヲ識別シテ速ニ其名稱ヲ答ヘ得ルニ至ランコト決シテ



疑ヲ容ル可ラズ

師云 汝等今マ小節ノ三種類ヲ學ビ得タリ即チ一ハ偶數小節即チ四分二拍子ノモノ、二ハ奇數小節即チ四分三拍子ノモノ、三ハ今マ新ニ説ク所ノ此四分四拍子ノモノ是ナリ而シテ其二拍子及ヒ四拍子ノモノハ奏曲ニ當リテ詳ニ之ヲ聽查セントストモ其調姿髣髴トシテ區分スルコト甚タ難ク且其聽ク所等シク人耳ヲ喜ハシムト雖モ然カモ譜表

ニ依リテ之ヲ見レハ詳ニ其別アルヲ知ルニ至ル蓋シ其四拍子ノ樂譜ハ時アリテ通常拍子ノ譜ト稱スルコトアリ而シテ譜表ニ此拍子ヲ示スニハ必ス $\frac{2}{4}$ 或ハ $\frac{4}{4}$ ノ一記號ヲ附セリ又此拍子ノ小節中強聲ヲ用フヘキハ第一、第三ノ二部ナレモ此兩部相比スレハ第一ノ部ニ於テ聲力最モ強ナリトス

〔此時教師ハ四分ノ二及ヒ四分ノ三拍子ヲ譜表ニ示スヘキ記號ヲ教フヘシ然レモ此ノ如キハ生徒ノ自ラ解知シ得ヘキコトナレハ敢テ急務トスルニハアラサルナリ〕

第十五教

拍子ヲ拍タシムル教授法

一千七百五十四年ウム、タンズル氏著述ノ音樂書中ニ云ヘルコトアリ曰ク凡ソ音樂ノ拍子動作如何シテ之ヲ拍ツヘキカヲ教フルハ敢テ緊要ノ事業トセス何トナレハ凡ソ人タル者ハ必ス天然ニ唱休ニ舉動ニ應スヘキ拍子ノ具ハルモノナリ若シ性中自然ニ其拍子ノ具ハルコトナクンハ之ヲ拍ツトモ必ス其度ニ適セスシテ決シテ心ニ快キヲ覺ユルコト能ハサルモノナリト

〔拍子ハ先ツ唱歌ニ依ラスシテ別ニ之ヲ練習セシムヘシ且一級五十名以上ヲ以テ成レル者ヲシテ一齊ニ行進シ得ヘキ拍子ヲ拍タシメントスルハ之ヲ教フルコト甚ダ困難ナリトス、余今マ拍子ヲ拍ツ方法ヲ教ヘントスルニ當リテ先ツ一小節四拍子ノモノヲ以テセントス、此拍子中ニハ自ラ二拍子、三拍

子アリテ拍ツニ其難キヲ覺ユルモノアルニ因リテナリ但シ
 之ヲ教フルニ方リテハ相當ノ教課ヲ使用スルヲ可トス
 教師此課ニ着手スルニ先ツ圓圈ノ各四分一部ヲ指シ後ニ又
 其圓圈下ノ水平線ニ記シタル符ヲ指シナガラ意ヲ用ヒ生徒
 ナシテ各小節ノ第一部ニ聲力強ク第三部ニ聲力輕クシテ其
 拍子ヲ數ヘシムヘシ又休止ノ符ヲ交ヘタルモノニハ之ヲ數
 フルニ其部ニ至リテ聲力最モ微ナラシムヘシ

拍子ヲ拍タシムヘキ体格

教師命シテ曰ク汝等皆少シク胸部ヲ前ニ突出シ坐ヲ正シク
 シテ肘ヲ後方ニ下ケ右手ノ中指ヲシテ左手ノ掌中ニ觸レシ

ムヘキ位置ヲナシ又其拍子ヲ拍タントスルニ當リテハ唯手
 節ノミノ動作ヲ以テスヘシト此ノ如クスルハ甚ダ緊要ナル
 方法ニシテ一ハ身体ヲシテ勞レサラシメ一ハ其拍ツ所ノ拍
 子ニ乘シテ前ニ突進セントスルヲ防クガ爲ナリ蓋シ師ノ命
 スルコト此ノ如クナル時ハ生徒中必ス其初ハ手節ノミノ動
 作ヲ以テ拍子ヲ拍テ得サル者アルヘシ故ニ師ハ常ニ注目シ
 テ此等ノ者ハ特別ニ之ヲ教フルヲ要ス
 書籍ニ依リテ唱歌スル時ハ生徒ヲシテ其拍子ヲ拍タシムル
 ヲ禁スヘシ
 四分ノ四拍子ノ一小節ニハ其第一部ニ下拍シ第二部ニ左シ
 第三部ニ右シ第四部ニ上揚スルコト圖ノ如クス

上揚
下拍
右手 拍子ノ方向

下拍スルニ當リテハ右手ノ中指頭ヲ左手ノ掌ニ拍ヲ觸レ左
スルニ當リテハ右手ヲ左傍ニ振掉スルコト殆ト胸部ニ觸ル
ハニ至ルヘシ
此拍子ハ務メテ皆迅速ニスルヲ旨トシ且小節中極メテ其拍
ツヘキ部分ノ發唱ト正ニ同一齊ニ發スヘシ
此ノ如ク拍子迅速ナルキハ拍ヲ終ルトイフニ必ス猶ホ若干
ノ餘間アルヘシ然レモ次ノ拍ツヘキ時刻來ルマテハ決レテ

其体格ヲ亂スコト勿ルヘシ

余今、拍子ヲ實地練習セシメントス其方法左ノ如シ

師云 拍子ヲ拍ツヘキ体格ヲセヨ

〔生徒等皆其体格ニス〕

師云 余今、此第一圓圈ノ一符ヲ指示セハ汝等之ニ適スヘキ拍子
ヲ拍チ且ツ之ヲ數フヘシ

〔教師此課ヲ授クルコト此ノ如クシテ生徒ノ意中ニ第四圓圈
ノ各四分一部ニハ二拍スヘキ思想ヲ起サシメハ其拍子ニ至
ルトモ更ニ苦アルヲ覺エサラシムベシ蓋シ此各一部ニ二拍
スルハ其煩シキニ堪ヘス其煩キヲ避ケンニハ教師先ツ教ヘ
テ下拍ニ(一)ト唱ヘ手頭ノ猶ホ其位置ニ休止スル際復タ(ト)ト

唱へシムヘシ

教師上件ノ法ニ依リ生徒ヲシテ四個ノ四分一部ヲ八分スル
理ヲ會得セシムルニ至ラハ各四分一部ニ斜點線ヲ施シテ之
ヲ八分スル理ヲ了知セシムルモ亦大ニ易カルベシ此ノ如ク
シテ豫此苦辛アリトスル一課目ノ概理ヲ會得セシメハ直ニ
八分符ヲ以テ成ル小節ノ練習ニ進ムヘシ
凡ソ教師ノ任ニ在リテハ生徒中幼ト壯トヲ論セス同級生中
ニ其業ニ就キテ之ヲ誹謗スル色アル者ヲ見ハ直ニ之ヲ以テ
尙ホ其課ヲ練習セシムルノ好機會トナスヘキナリ故ニ教師
ハ教授ノ時間中務メテ生徒ニ拍子ヲ拍タシメ且ツ各自ニ之
ヲ數ヘシムヘシ

第十六教

始初五音
度ノ豫教

第一



第二



第三



此三課ハ皆黑板ニ記載シテ唱ハシムルニ先ツ拍子ノ注意ナク次キニ至リテ漸ク之ヲ拍チ且ツ之ヲ數ヘシメ以テ終ニ教師ノ指ス所ニ從ヒテ亦之ヲ拍唱セシムルモノナリ
此譜ヲ用フルモノハ專ラ幼稚ヲシテ先ツ音階 $\text{I}[\text{ヒ}]^{\text{ソ}}[\text{ミ}]^{\text{リ}}[\text{イ}]$ ノ音調ヲ唱ヒ習ハシムル便ヲ取ルカ爲ナリ

第十七教

輪唱ノ教授法

輪唱ハ全級未ダ初學ナル生徒ヲシテ單音唱歌ヲ練習セシムルヲ爲サシムベシ
目的トスルモノニテ級中最モ音樂ニ適スル僅々五六名ヲシテ之

第十八教

一拍子二音ノ教授法

師問 〔下拍シテ〕此拍子ハ何如

生答 下拍ナリ

師問 〔上拍シテ〕此拍子ハ何如

生答 上拍ナリ

師問 此小節ノ種類ヲ何ト名ヅクルゾ

生答 二拍子即チ偶數小節ナリ

〔此時ニ際シテ教師教フルニ調名ヲ使用スルトキハ大ニ生徒ノ進歩ニ益アルベシ然レモ教師或ハ唱フニ(ナ)字ヲ以テシテ

生徒克ク詳ニ其音調ヲ解スルヲ得ルニ至ラハ調名ニ換フルニ(ナ)字ヲ以テスルモ亦可ナリ又時トシテ教師自ラ唱フコト能ハサルコトアリテ教フルニ一樂器ヲ以テスルキハ生徒ヲシテ答フルニ調名ヲ用ヒシムベシ

師問 余今マ一小節ヲ拍チ且ツ之ヲ唱ハン、汝等切ニ聴キテ每拍幾個ノ音數ヲ唱フヤ余ニ之ヲ告ゲヨ



〔教師之ヲ唱フ〕

生答 師ハ下拍ニ二音上拍ニ一音ヲ唱ヒタリ

師云 然リ、誰カ余カ今マ爲シ、如ク此一小節ヲ拍チ且ツ唱フコトヲ得ル者アリヤ〔此時某ニ令シテ〕汝ハ之ヲ爲スヘシ

〔此時某生徒直ニ之ヲ爲スト雖下拍ノ半ニ至リテ手頭ヲ上揚シ至時間之ヲ掌上ニ止メサリキ〕

師云 余再ヒ此小節ヲ唱ハントス、汝等善ク注目シテ余カ一拍ニ二唱スルキ其第一音ニ手頭如何シ其第二音ニ手頭如何セシナ仔細ニ告クベシ

〔此時教師前ノ如ク再ヒ拍チ且ツ唱フ〕

某生答 師ハ第一音ヲ唱ヒシキ迅速ニ下拍シ第二音ヲ唱ヒシ間兩掌相合ヒテ其位置ヲ保テタリ

師云 某生ヨ汝余カ爲シ、如ク此一小節ヲ拍チ且ツ唱フヘシ、全

級生モ亦皆某生ニ倣ヒテ此小節ヲ拍チ且ツ唱フヘシ
師云 余今マ汝カ唱ヒシ所ノ小節ノ符號ヲ黑板ニ記載セン



〔此時教師記符スルユト上ノ如クス〕

師問 余下拍ノ所ニ何ノ符號ヲ記セシゾ
生答 (ト)ノ八分符二個ナリ
師問 上拍ノ所ニハ何ノ符號ヲ記セシゾ
生答 (ロ)ノ四分符一個ナリ
師云 某生ハ余カ今マ記シタル小節ヲ拍チ且ツ唱フヘシ

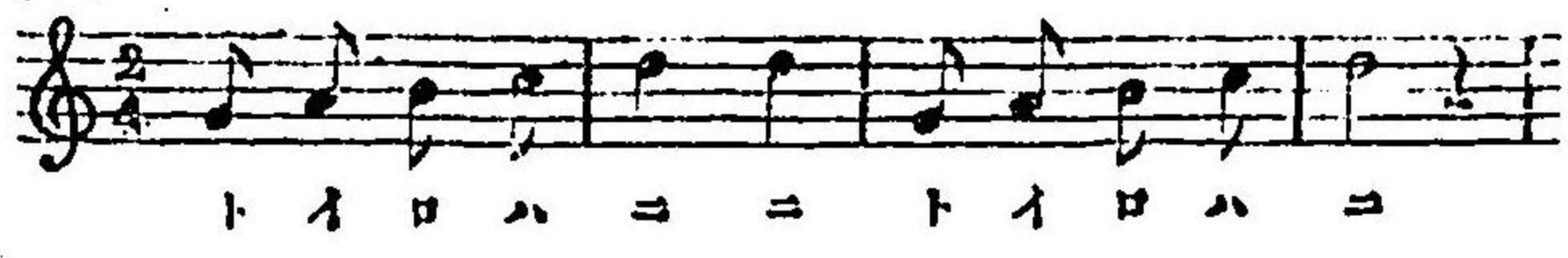
〔此時某生ハ正シク之ヲ拍チ且ツ唱フ〕

師云 某生ノ如ク全級
皆之ヲ拍チ且ツ唱ヘ
師云 余今マ黑板ニ此
全課ヲ記セン而シテ余
ハ此全級中幾名ノ生徒
善ク此拍子ヲ拍チテ之
ヲ唱ヒ得ルカヲ試聽セ
ント欲ス

第一



第二



〔上ノ課ヲ授クルニ教師善ク意ヲ用ヒハ生徒ヲシテ後ニ與フル所ノ教課ヲ修メシムルコト甚タ容易ニシテ必ス教師ノ未タ其教課ヲ教授セザルニ先タテ生徒等皆善ク其歌曲ヲ唱ヒ得ルニ至ルベシ〕

左ニ圖スル如ク數字ヲ以テ黑板ニ記載セシモノヲ生徒ニ令シテ符號ニ換用シ之ヲ各自ノ石盤ニ記寫セシムベシ是レ最も緊要ナル教課ナリ但シ八分符ヲ用フベキモノニハ二個ノ數字下ニ連結記號ヲ施スベシ〕

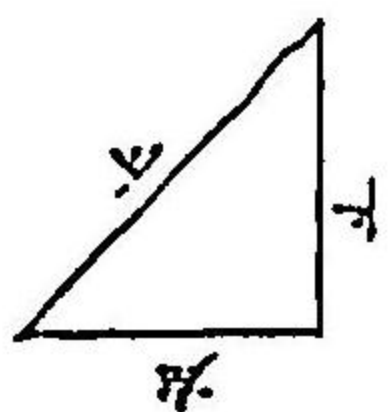
2
4 1, 2, | 1, 2, 3, | 3, 2, | 3, 2, 1, ||

2
4 1 2, 3, | 3 4, 5, | 5 4, 3, | 3 2, 1, ||

第十九教

三拍子ヲ以テ成レル小節ノ拍子ヲ拍タシムル教授法

師云 余今マ三拍子ヲ以テ成レル小節ヲ教授セントス、汝等余カ
其二小節ヲ數ヘナガラ拍子ヲ拍ツヲ見ヨ



〔此時教師上ノ圖ニ從ヒテ拍子ヲ數ヘ且ツ拍ツ〕

生答 師ハ(一)ニ下拍シ(二)ニ左シ(三)ニ上揚セリ

師問 誰カ余カ今マ爲シ、如ク三拍子ヲ以テ成レル此二小節ヲ
拍チ得ル者アリヤ、某生ハ之ヲ拍ツヘシ

師云 某生ノ今マ爲シ、所正ニ善シ唯其手頭ノ動作甚々大ナル

ヲ不可トス但シ何等ノ業モ皆初學ニ在リテハ其正シキニ適スル
能ハサルハ固ヨリ咎ムルニ足ラサル所ナリ、誰カ某生徒ノ如ク之
ヲナシ得ル者アリヤ

〔此時數生徒手頭ヲ大ニ動作セズシテ之ヲ拍ツ〕

師云 余今マ汝等ヲシテ此拍子ヲ練習セシメンカ爲ニ其教課ノ
二三ヲ左ニ記載セントス然レモ其樂譜ノ如キハ決シテ善美ノモ
ノヲ使用スルコトヲ要セス何トナレバ縦ヒ善美ノ歌曲ヲ用フト
モ之ヲ唱フニ際シテ其拍子ヲ拍ツキハ必ス其趣致ヲ失スルニ至
レバナリ

師云 二個以上ノ八分符ヲ一字ニテ唱フキハ左ニ記スル終尾ノ
教課ノ如ク共ニ之ヲ連合シ而シテ手頭ヲ左スル拍子ニ從ヒテ二

3, 2, 1, 5, 4, 3, 4, 3, 2, 1-0,

第四

5, 3, 1, 2-0, 5, 3, 1, 2-0,

3, 2, 1, 5, 4, 3, 4, 3, 2, 1-0,

第五

+ + + + + + + + +

+ + + + + + + + +

符
一
聲
ニ
唱
フ
ナ
リ

第一

1, 1, 3, 5-0, 1, 1, 3, 5-0,

4, 4, 4, 3, 3, 3, 2, 3, 2, 1-0,

第二

1, 3, 1, 5-0, 1, 3, 1, 5-0,

4, 5, 4, 3, 4, 3, 2, 3, 2, 1-0,

第三

3, 1, 3, 5-0, 3, 1, 3, 5-0,

〔三拍子ノ歌曲ヲ授ケントスルニハ之ニ先メテ前ノ教課ヲ練習セシムルヲ最良ノ法トス〕

第二十教

音階六音度ノ教授法〔唱歌集初編第十三曲〕見渡セバ〔ヲ用フ〕
此授業中新ナル教課トスルモノハ音階第六度ノ増加ノミニシテ其調過高ナルニ非ザレハ生徒皆容易ニ之ヲ唱ヒ得ルニ至ルベシ

第二十一教

一拍子ニ一八分符ヲ數フル教授法〔唱歌集初編第十七曲〕蝶々〔ヲ用フ〕

此授業ニ用フル譜ハ之ヲ教授スルニ黒板ニ記載スベキモノニシテ此課中生徒ヲシテ特ニ學バシメントナ要スル條件ハ各小節ノ每部ニ八分符ヲ置キ若シ四分符アルニハ二回之ヲ數フヘキカ或ハ長キ拍子ヲ以テスベキカヲ了知セシメントスルニ在リ蓋シ此歌曲ハ今マ新ニ示スモノニ非ズ〔蝶々〕ノ曲ヲ見ヨ〔生徒等既ニ唱音口授ノ課ニ於テ學ヒタルモノニシテ教師此課ヲ授ケントスルニハ殊更ニ最前ノ小節ニ意ヲ用ヒンコトヲ要ス〕

第二十二教〔唱歌集第二編第三十六曲〕年立ッ今朝〔ヲ用フ〕

六拍子ヲ以テ成レル小節ノ教授法

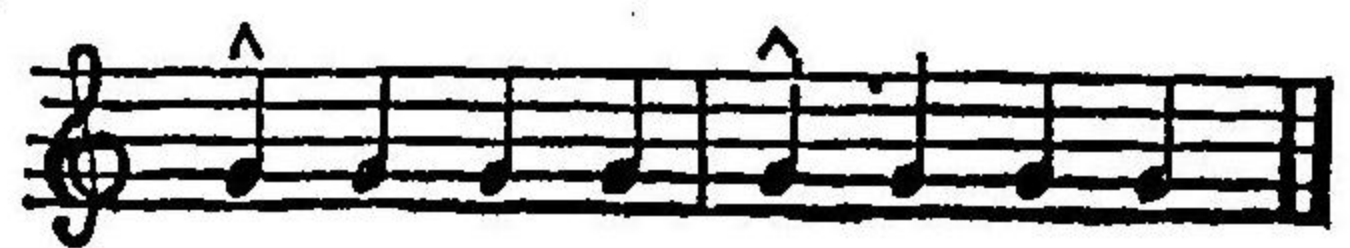
此授業ハ豫教ヲ施サズシテ直ニ與フベキモノナリ而シテ此課ハ

各部三拍子ノ二部ヲ併セテ一小節トシタルモノトシテ之ヲ練習セシムルヲ可トス蓋シ此課ハ三拍子ヲ以テ成ル小節ノモノヨリハ生徒ヲシテ稍其樂シキヲ覺エシムベシ然レモ強ヒテ此兩種ヲ仔細ニ區分セシメントセバ却テ生徒ノ氣力ヲ勞シ爲ニ無益ノ精神ヲ費スニ至ラン之ニ因リテ一小節三拍子ヨリ成リタル「鳥ノ聲」ノ歌曲ヲ唱ハシムルヲ以テ之ニ適セリトス

第二十三教

音階ノ再教

師問 一音階中幾許ノ音數アリヤ
生答 八音アリ



〔此時教師上ノ如ク唱フ〕

師問 此八音ヲ以テ音階トスルカ
生答 否ナ其八音ハ皆同調ナリ
師問 音階トセンニハ此八音ノ差異如何スベキゾ
生答 音階ノ級等ニ隨ヒテ八音ヲ逐次ニ上唱スベシ

師問 余今マ尙ホ音階ニ就キテ教授セントスル條件アリ、汝等余
カ管テ高度ノ字義ヲ説示シタルヲ記憶セリヤ

生答 唱歌ニ於テ高度ト稱スルハ其意蓋シ律ノ高低ヲ云フナリ

師問 音階中何ノ音ヲ以テ低キ高度トスルゾ

生答 1[ヒ]ナリ

師問 高キ高度ハ何如

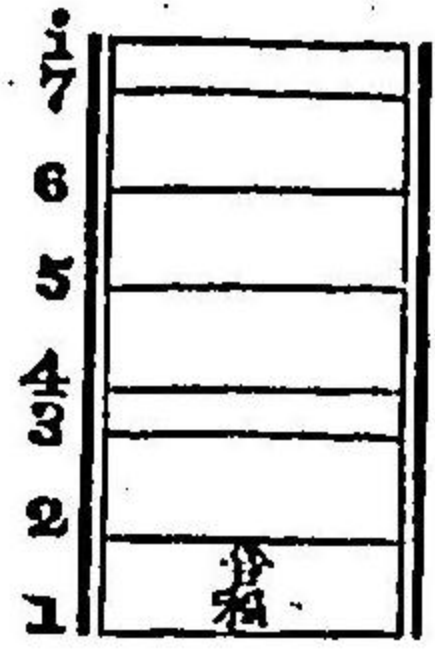
生答 i[ヒ]ナリ

師問 1[ヒ]2[フ]ノ差異ハ何如

生答 2[フ]ノ高度ハ1[ヒ]ヨリ高シ

師云 汝等管テ地理學ニ於テ甲所ヨリ乙所ニ達スルノ間ヲ距離
又ハ路程ト名ツクルヲ知リシナラン音樂上ニモ亦一音ヨリ他

音ニ至ルノ距離アリ之ヲ音程ト名ツク、サレバ音程ハ音階中二音
ノ高度ノ差異ナリト知ルヘシ



〔教師之ヲ圖ス〕

師問 〔此圖ヲ指シテ〕余今マ1[ヒ]2[フ]ノ二線間ニ音程ノ二字ヲ書

セリ、汝等此諸線ノ間ニ廣狹ノ差アルヲ見タリヤ

生答 然リ、我等其諸線間ニ廣狹ノ差アルヲ知レリ

師問 サレバ此音階中他ノ諸音ニモ亦其音程ノ差異アリテ或ル

二音間ニ於テハ其差異他ノ二音間ヨリ大ナルモノアリ、倍テ此音

階中ニ其音程ノ種類幾許アリヤ

生答 大小二種ノ音程アリ

師問 1[レ]2[レ]2[フ]ノ二高度間ノ差異ハ如何ン

生答 大音程ナリ

師問 3[ミ]4[レ]ハ如何ン

生答 小音程ナリ

師問 此音階中ニ小音程幾個アリヤ

生答 二アリ

師問 汝等其二小音程トハ何レヲ指スツ

生答 3[ミ]4[レ]及ヒ7[フ]1[レ]ノ音程ナリ

師問 此音階中ニ大音程幾個アリヤ

生答 五アリ

師問 音楽家ハ音階ニ於ケル大音程ヲ全音ト云ヒ小音程ヲ半音

ト云フナリ倍テ音楽家ハ此大音程ヲ何ト名ヅクルツ

生答 全音ト云フナリ

師問 小音程ハ如何ン

生答 半音ト云フナリ

師問 其全音トハ如何ナルモノヲ云フツ

生答 音階ニ於テ大音程ナル者ナリ

師問 半音トハ如何ン

生答 音階ニ於テ小音程ナル者ナリ

師云 此音階中ニ幾個ノ全音幾個ノ半音アリヤ余カ今マ之ヲ指
スニ從ヒテ汝等其音程ノ樂名ヲ述ヘヨ〔此時教師音階ヲ指ス〕

生答 全音全音半音全音全音全音半音

師云 余今マ汝カ答ヘタル所ノ樂名ヲ此ニ記セン

〔此時教師ハ生徒ノ答フルニ從ヒテ全音及ヒ半音ノ語ヲ其適部ニ記ス〕

教師此時ニ於テ全級ニ〔唱歌集初編第一葉〕ヲ見ヨトノ令ヲ下スベシ此ノ如ク今マ其唱歌集ヲ黑板ニ代ヘテ用フル者ハ生徒ノ厭倦ヲ防カンガ爲ナリ

師問 誰カ能ク一全音ヲ成ス所ノ二音ヲ指シテ之ヲ唱フ者アリヤ

〔此時某生¹〔ド〕²〔レ〕ノ二音ヲ指シテ之ヲ唱フ〕

師問 誰カ能ク一半音ヲ成ス所ノ二音ヲ指シテ之ヲ唱フ者アリヤ

〔又某生³〔ミ〕⁴〔ロ〕ヲ指シテ之ヲ唱フ〕

師問 誰カ能ク一半音ヲ成ス所ノ他ノ二音ヲ唱フ者アリヤ

〔此時某生ハ⁷〔ナ〕¹〔ド〕ヲ指シテ之ヲ唱フ又教師ハ此機ニ乘シ生徒ヲシテ此圖ヲ記寫セシメ其適部ニ全音半音ノ言ヲ書シ且ツ各線ノ前端ニ各音ノ階名ヲ記スルコトヲ命スベシ〕

第二十四教

附點四分符ノ教授

法〔霞カ雲カ〕ノ曲ヲ

用フ

師云 汝等余カ今マ一拍毎ニ幾音ヲ唱フヲ仔細ニ聽ケ



〔教師上ノ如ク拍ヲ且ツ唱フ〕

師問 汝等余カ嘗テ此ノ如キ樂譜ヲ唱ヒタルヲ聽ケリヤ

〔此時生徒等沈黙シテ答フルコト能ハズ〕

師云 汝等既ニ下拍ノトキ手掌ニ觸レ左スルトキ胸部ニ觸ルベ

キ課ヲ記臆シタルベシ〔此時再ヒ唱ヒテ問フ第一音ノ長短ハ如何ン

生答 第一拍ヲ過キテ第二拍ノ前半部ニ及ベリ

師問 第二音ノ長短ハ如何ン

生答 第二拍ノ後半部ト同シ長サナリ

師問 其次キノ音ノ長短ハ如何ン

生答 第三拍ト等シキ長サナリ

師問 其次キノ音ノ長短ハ如何

生答 師ハ第四拍ト等シキ長サニ唱ヒタリ

〔此時教師ハ圓圈ヲ畫キテ之ヲ縱横ニ四分ス〕

師問 汝等ハ今マ余ガ第一音ニ第一拍即チ第一四分一部及ヒ第

二拍ノ前半部ヲ唱ヒタリト答ヘタリ然ラハ此圓圈ノ第一四分一

部ニ如何ナル符號ヲ記スベキゾ

生答 四分符一個ヲ記スヘシ

師問 汝等此一個ノ四分符ヲ唱ヒテ余カ今マ唱ヒタル所ノ音ト

長短同一ナリトスルカ

生答 否ナ師ノ唱ヒタル音ハ是ヨリ尙ホ長キヲ半拍ナリ

師問 然ラバ第二四分一部ノ前半部ニ何ノ符號ヲ記スベキゾ

生答 八分符一個ヲ記スヘシ

師問 〔八分符ヲ記シテ〕此記符ニ據レハ此八分符ハ他音ヲ唱ハシ

ムルニ至ルヘシ然ラズシテ此八分符ヲ前ノ四分符ニ合シテ一聲ニ唱ハシメンニハ如何ナル方法ヲ以テスベキゾ

生答 其二符上ニ連結ヲ記スベシ

師問 汝等既ニ此次キノ音ノ長短ハ第二拍即チ第二四分一部ノ後半部ニ等シト答ヘタリ然ラハ此ニ何ノ符號ヲ記スベキゾ
生答 八分符一個ヲ記スベシ

〔此時教師此圓圈ノ第三第四ノ兩四分一部ニモ亦同一種類ノ符號ヲ記シ第十四教ニ就キテ施行セシ方法ニ據リテ圓圈中ノ符號ヲ拍チ且ツ之ヲ數フルヲ可トス〕

師云 〔更ニ復ターノ圓圈ヲ畫キテ〕余カ今マ記載シタル教課ノ最初ノ音ヲ記スルニ他ノ方法アルヲ示スベシ

〔此時教師此圓圈ノ第一四分一部ニ一個ノ四分符ヲ記シ前ニ記載シタル圓圈中最初ノ二符ヲ指シテ左ノ如ク説示ス〕

師云 此ノ如ク連結ヲ以テ此二符ヲ結合セシハ二符ニ二音ヲ用ヒズシテ之ヲ一聲ニ長唱スベキコトヲ示サンガ爲ナリ故ニ音樂家ハ此分チテ唱ハザル第二符ハ屢畧シテ第一符ノ後ニ一點ヲ附セリ然ルルハ此一點即チ八分符ニ代用スレハ此第一符ハ必ス第二四分一部ノ前半部ヲ加ヘタルト同シ長サニ唱フモノト知ルベシ是ニ於テ余問ハン第二四分一部ノ前半部ニ於ケル八分符ニハ如何ナルモノヲ代用シテ可ナリヤ
生答 一點ヲ附加スベシ

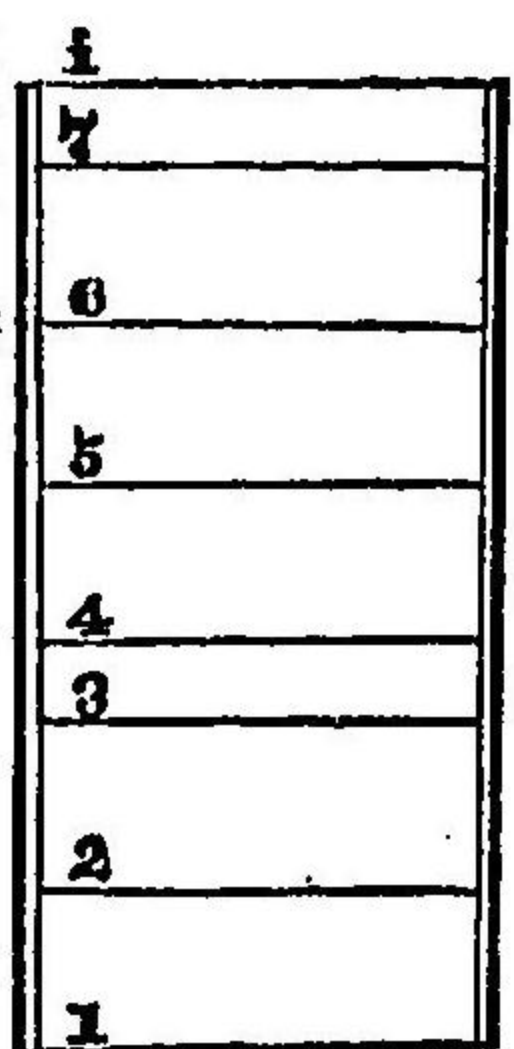
〔此ノ如クシテ生徒ニ第二圓圈ノ第一第二兩四分一部ト第一

圓圈ノ其兩部分ト音長同一ナルヲ會得セシメ而シテ其第二
 圓圈ノ餘符及ヒ他ノ圓圈ヲ教フルモ亦皆此方法ヲ以テスル
 トキハ容易ニ之ヲ了知セシムルニ至ルベシ此時師ハ生徒ヲ
 シテ此符號ヲ一條ノ水平線上ニ轉寫セシムベシ又復々師ハ
 生徒ニ此教課ヲ會得セシメンガ爲ニ簡易ナル他ノ方法ヲ設
 ケテ之ヲ試問シ或ハ前ノ教授法ニ依リテ之ガ拍子ヲ拍チ且
 ツ唱ハシムベシ但シ此教授ニ使用スル歌曲ハ年立ツ今朝全
 課ヲ以テ適セリトス

第二十五教

(ハ)ノ調ニ在ル中央及ヒ上下音階ノ教授法

〔教師音階ヲ畫キテ之ニ數字ヲ記スルコト左ノ如クス〕



師云 余今マ新ナル高度ヲ用ヒントス即チ1〔ド〕ヲ(ハ)ノ調ト定ム
 〔此時1〔ド〕ノ線ニ其文字ヲ記シテ汝等調名ニ從ヒテ此音階ヲ唱上
 唱下セヨ

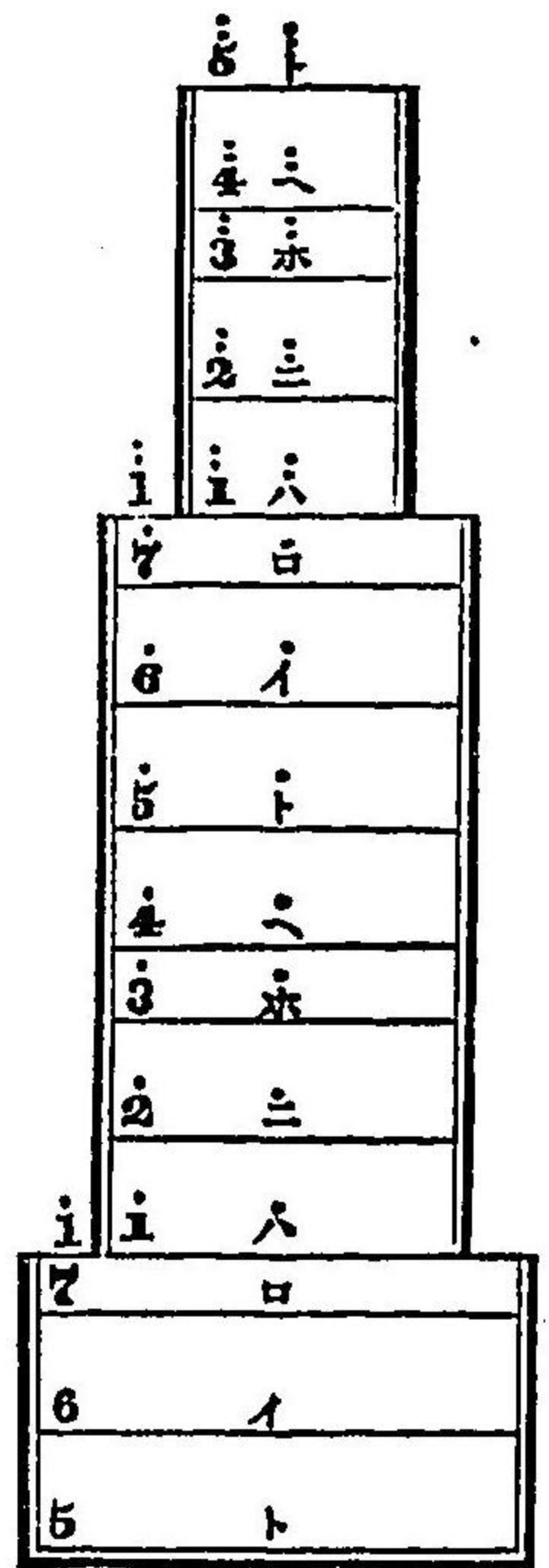
生唱 (ハ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)(イ)(ロ)(ハ)

師云 又階名ニ從ヒテ唱へ

生唱 1〔ド〕2〔ド〕3〔ド〕4〔ド〕5〔ド〕1〔ド〕等

師云 善シ、余又此ⁱ〔^ロ〕ノ上ニ音階ヲ作ラン

〔此時教師左圖ノ如ク此音階上ニ尙ホ第五音度ニ至ルマテノ階級ヲ附加ス〕



師云 之ヲ上階ト名ヅク然レモ此階級ハ第五音ヨリ高カ、ラザルヲ常トス而シテ汝等此二音階中ニ二個ノ(ハ)字アリテ一ハ中階ニ位シ一ハ上階ニ位セルヲ知ラン、此同字ノ二音ヲ區別センカ爲

ニ或ル音楽家ハ中階ノ(ハ)ニハ(・)ノ記號ヲ施シ上階ノ(ハ)ニハ(∴)ノ記號ヲ附ス故ニ其中階ノモノヲ單點ノ(ハ)ト名ヅケ上階ノモノヲ複點ノ(ハ)ト名ヅク其他皆音階中各字其記號ヲ附スルコト皆此方法ニ依ルヲ辨知スベシ又中階ヨリ下唱セントスルキハ其ⁱ〔^ロ〕ヨリシテ下階ヲ作ルモノナリ

〔此時教師ハ前圖ノ如ク中階下ニ第五音度ニ至ルマテノ階級ヲ附加ス〕

師云 之ヲ下階ト云フ而シテ此階中ノ調名文字ニハ一トシテ記號ヲ附シタルモノナシ是レ他ノ音階ト其區別ヲ詳ニセンカ爲ナリ、此時試ニ問フ余ハ幾個ノ音階ヲ記セシゾ
生答 中階、上階、下階ノ三ナリ

師問 此三音階ノ調名文字ヲ區別スル方法ハ如何ン
師云 中階ノ調名文字ニハ單記號ヲ附シ上階ノモノニハ重記號
ヲ置キ下階ノモノニハ一モ記號ヲ施サ、リシナリ

第二十六教

上階及ヒ下階ノ教授法相當ナル教課ヲ與フ

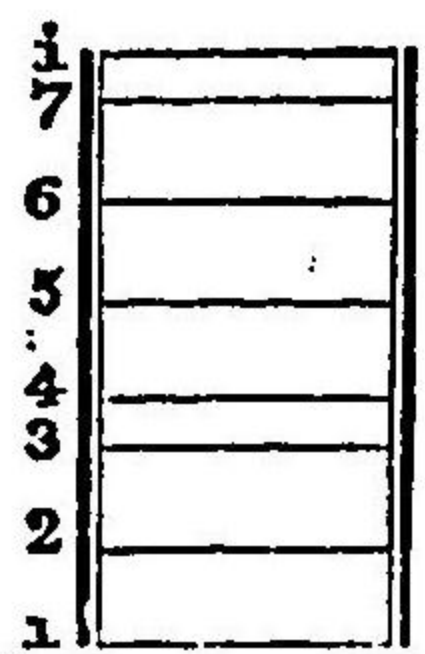
此教課ハ生徒ヲシテ上階及ヒ下階ニ屬スル各音ノ差異ヲ識別セ
シムルニ最要ノモノトス故ニ1、2、3ト下階ニテ唱ヒi、2、3ト上
階ニテ唱フカ如キ練習ヲナサシムベシ而シテ男兒ハ女兒ヨリモ
發音ヲ誤リ易キ者ナレバ殊ニ此教課ヲ習熟セシムルヲ要ス

第二十七教

上行半音階ノ教授法〔黑板ニ音階圖ヲ記ス〕

此教課ヲ説明セントスルニハ先ツ音階ニ關シタル從前ノ教課ヲ
再示シテ生徒ニ全音及ヒ半音ノ差異ヲ了知セシムベシ此ノ如ク
シテ教師生徒ニ此教課ヲ施サバ困難ヲ覺エスシテ速ニ之ヲ會得
セシムルコトヲ得ルニ至ルヘシ

師問〔左圖ヲ畫キテ〕余ハ此圖ノ1〔レ〕ヲ〔ハ〕ト名ヅク〔此時教師ハ
(ニ)ノ二調ヲ自唱シ或ハ樂器ヲ用ヒテ此調ヲ示シ〕汝等如何ナル音
ヲ聽キタリヤ



生答 1 [ド] 2 [フ] ナリ

師問 其音ハ(ハ)調ノ音階ニ於テ何ノ高度ナルゾ

生答 (ハ)(ニ)ノ高度ナリ

師問 其音程ハ如何ン

生答 全音程ナリ

師問 (ハ)及ヒ嬰(ハ)ノ二音ヲ示シテ「此二音ハ全音ナリヤ如何ン

生答 否ナ

師問 否ナトハ何故ゾ

生答 其第二音ノ(ニ)ノ高度ニ達セザリシ故ナリ

師云 實ニ然リ此一音ハ汝等始メテ聽ク所ナリ而シテ此音ハ1

[ド]ヨリ高ク又2[フ]ヨリモ低シ

〔此時教師ハ音階ノ(ハ)(ニ)字間ニ一條ノ線ヲ記シ弧線ヲ以テ之ヲ下線ニ結合ス〕

師云 此音ヲ嬰(ハ)ト名ヅク而シテ之ヲ記スルニハ此ノ如クス〔此時其線上ニ(ハ)ヲ記シ汝等今マ余カ此音ヲ示サンガ爲ニ(ハ)(ニ)間ニ一線ヲ記シタルヲ知レリ而シテ此嬰(ハ)ト(ハ)トノ高度ノ差異ハ如何ン
生答 半音ナリ

〔此教課ハ目ニ半音ノ形ヲ教フルチ主トシテ耳ニ其音ヲ教フルチ旨トセザレハ此際未ダ耳覺ヲ練習セシムルヲ目的トスルコト勿レ是レ唯生徒ヲシテ此ノ如キ音アリテ他ノ音階ヲ作ルニ屢此音ヲ使用スベキコトヲ會得セシムルヲ以テ足レリトスレバナリ〕

師問 (ニ) 及ヒ嬰(ニ)ノ二音ヲ示シテ此ハ全音ナリヤ

生答 否ナ

師問 否ナトハ何故ゾ

生答 第二音ノ(ホ)ノ高度ニ達セザルカ故ナリ

師問 余此音ヲ音階上ニ現ハサンガ爲ニ(ニ)(ホ)ナル二線ノ間ニ尙

ホ一線ヲ記セン此音ニハ何ノ名字ヲ附スベキゾ

生答 嬰(ニ)ノ字ナリ

師問 其レハ何故ゾ

生答 (ニ)ヨリ高キコト半音ナレバナリ

〔此ノ如クシテ教フルトキハ他ノ半音モ皆生徒必ス能ク之ヲ記スルコトヲ得ヘシ〕

師問 余ガ今マ教ヘタル所ノ音階ハ其音皆嬰音ヨリ成レルヲ以テ音楽家ハ之ヲ上行半音階ト名ヅク此音階ニ在リテ各音間ノ差異ハ如何ン

生答 半音ナリ

師云 然リ此音階ハ皆半音ヨリ成レリ余ガ嘗テ教ヘタル所ノ音階ハ全音半音ノ二ヲ以テ成レルガ故ニ音楽家ハ之ヲ自然音階ト名ヅケタリ而シテ余ガ次教ニ於テ授ケントスルモノハ下行半音階ノ教課ナリト知ルベシ

第二十八教

下行半音階ノ教授法

師問 余ガ前教ニ於テ授ケタル教課ヲ能ク記憶シ得タル者幾名
アリヤ而シテ其教課ハ何如ナルコトナリシヤ

生答 上行半音階ナリ

師問 然リ此音階ノ自然音階ト異ナル所ハ如何ン

生答 其音階ハ各級皆半音ヨリ成レルヲ異ナリトス

〔此時教師ハ再ヒ前教ノ如キ音階圖ヲ畫キテ之ニ調名ト數字

トヲ附シ而シテ樂器ヲ用ヒテ(ハ)(ロ)ノ二音ヲ示スベシ〕

師問 余ガ今マ示シタル音程ハ如何ン

生答 半音ナリ

師問 (ロ)(イ)ノ二音ヲ示シテ此音程ハ如何ン

生答 全音ナリ

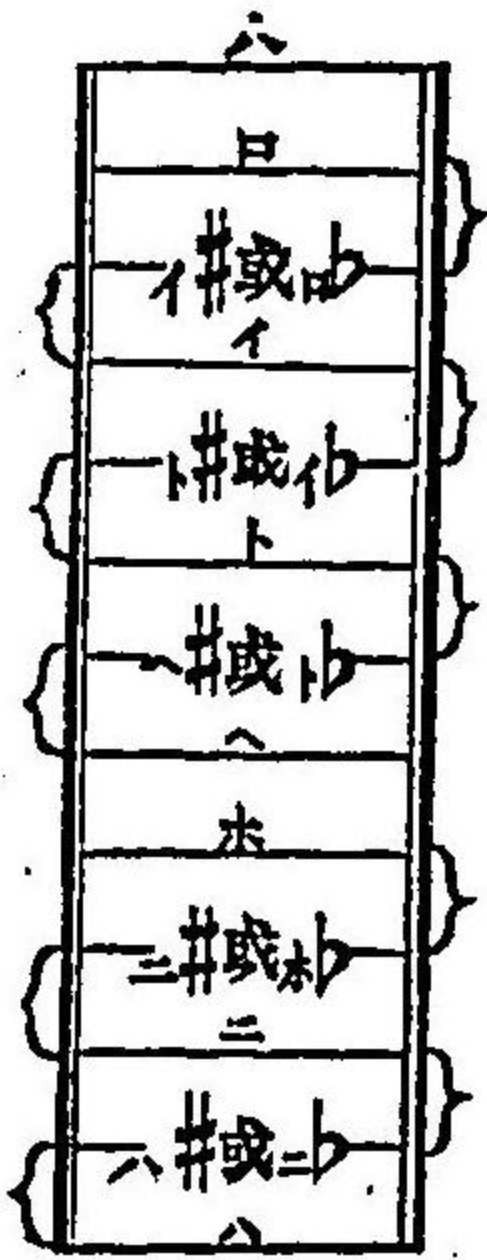
師問 (ロ)(イ)ノ二音ヲ示シテ此ハ全音ナリヤ

生答 否ナ

師問 否ナトハ何故ツ

生答 其第二音ノ(イ)マデ下ラザルガ故ナリ

師云 正ニ然リ此第二音ハ(ロ)ヨリ下ノ半音ニシテ之ヲ變(ロ)ト名
ヅク而シテ之ヲ音階上ニ現サンニハ(ロ)(イ)ノ中間ニ一線ヲ畫キ之
ニ(ロb)ヲ記シテ此記載法ヲ使用スルナリ



〔此時教師ハ此法ニ依リテ此ノ如ク音階ニ悉皆半音ノ記號ヲ

附スベシ而シテ之ヲ教フルニハ先ツ樂器ヲ用ヒ生徒ヲシテ固有ノ高度ト今マ前ニ示シタル半音トノ差異ヲ識別セシムルコトヲ務ムベシ

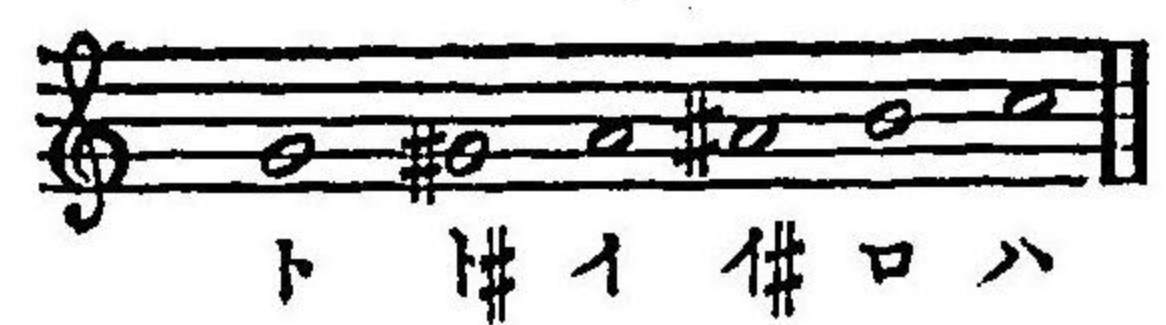
教師ハ又生徒ヲシテ同時ニ嬰變ノ二種音ヲ了知セシメンガ爲ニ圖ノ如ク變音線ニ兼テテ上行半音階ノ記號ヲモ亦記載スベシ且ツ時機ノ宜キヲ得バ生徒ヲシテ此圖ヲ石盤ニ寫シ取ラシムルコトヲ命スベシ是レ此圖ハ嬰變互ニ相通スル關係ヲ記臆セシムルニ益アレバナリ

次ニ教師又左ノ如ク此音階ヲ譜表ニ轉記スベシ

師云 余今マ上行半音階ヲ譜表ニ轉記セントス汝等ヨク注目シテ余カハ及ヒ嬰ハノ二符ヲ其同級線ニ記載スルヲ見ヨ而シテ問

フ嬰(ニハ何ノ所ニ記スベキゾト

〔次ノ譜表ヲ作ラントスルニ當リテハ教師悉ク生徒ニ問ヒテ音階ニ於ケル何ノ符ハ譜表上何ノ所ニ記スベキヲ答ヘシムルヲ要ス〕



ルノ理ヲ詳ニ説示スベシ

〔此時教師更ニ生徒ノ答フル所ニ從ヒテ此譜表ニ上行半音階ノ符ヲモ亦記載シ而シテ譜表ノ同一線上ニ嬰變二種ノ記號アルハ其名相異ナリトモ其高度ニ至リテハ兩ナガラ同一ナ

師云 余ガ今マ説示シタル二音ハ其高度相同シト雖モ其名ヲ異ニスルハ元來嬰ト變トハ譜表上其位スル所ノ級等ヲ同シクセザル所以ナレバナリ

〔生徒音階ヲ習熟シテ教師ノ其音ヲ示授スルヲ待タズシテ此嬰、變ノ二音ヲ朗唱シ得ルニ至ラバ教師ハ之ヲ助唱スルヲ要セズ然レモ生徒等若シ之ヲ朗唱スルコト能ハザルキハ圖ニ就キテ適宜ニ至ルマデ之ヲ練習セシムルヲ可トス
前教ニ示シタル音階ニ於テハ生徒皆必ス(ヘ)字ヲ自然音階ノ高度ニ唱フナリ然レモ次教ニ於テ練習セシメントスル音階ハ其(ト)字ヲi[ド]ト唱ハシムルニヨリテ生徒ハ識ラズ知ラズ自然ニ嬰(ヘ)ノ高度ヲ唱ヒ得ルニ至ラン

此ノ如ク生徒ノ偶然ニシテ嬰(ヘ)ノ高度ヲ唱ヒ得ルハ決シテ思想上ヨリ出ヅルニ非ズ是レ他ナシ音階ヲ練習スルニ3[ミ]4[ヨ]及ビ7[テ]i[ド]ノ樂語ヲ以テ夙ニ半音ヲ學ビ得タルニヨレリ即チ全音半音ヲシテ某高度ニ配當シ之ヲ練習スルノ久シキヲ經テ既ニ習慣ヲ成セシヨリ如何ナル音ヲ以テi[ド]ト爲シテ唱ハシムルモ知ラズ識ラズ正シク之ヲ唱了スルヲ得ルニ至リシ所以ナリ故ニ一ノ音階ヲ唱ハシメントスルニ方リテ要スルトコロハタゞi[ド]トスルトコロノ高度ヲ授クルニ在リ

第二十九教

(ト) 音調階即十嬰(へ)ナル高度ノ教授法

師云 樂家ハ嬰(へ)ノ調ヲ用フル譜表ヲ記スルニ方リテ其符毎ニ
 嬰ノ記號ヲ附セス只譜表ノ首端ニ在ル(ト)字記號ノ右傍ニ嬰ノ一
 記號ヲ置キテ其調ナルコトヲ示セリ故ニ譜表ノ首端ニ其記號ア
 ルヲ見ルトキハ(ト)字ヲ1(ト)ト唱フモノナリト知ルベシ又此ノ如
 ク(ト)字ヲ1(ト)ト
 スルトキハ之ヲ
 (ト) 調音階ト謂フ
 ベシ

第一

1, 1, 7, 7, 6, 6, 5-

1, 1, 2, 2, 3, 2, 1-

第二

5, 1, 1, 1, 2, 3, 3, 3, 1,

2, 2, 7, 7, 1-0,

テ意中ニ善ク其拍子ノ狀ヲ思想スベキコトヲ示シ而シテ拍

第三

5, 1-3, 5, 3- 5, 0, 0, 7, 7, 7, 1-0,

第四

0, 0, 3, 1, 0, 0, 5, 3, 0 0-0, 5, 3-0,

〔此ハ唱歌集初編中(ト)調ニ於
 ル諸曲ヲ教授スルノ豫教ニ
 適用スルモノナリ〕
 前ノ教課ヲ練習セシメンニ
 ハ左ノ順序ニ倣フベシ
 第一生徒ヲシテ拍子ヲ拍ヲ
 ナガラ之ヲ唱ハシムベシ
 第二教師ハ生徒ニ告ゲテ此
 教課ヲ唱ハントスルニ方リ

子ヲ拍タシメズシテ之ヲ唱ハシムヘシ
 第三、正則ニ基キ拍子ノ先導ヲナシ教師ハ宜ク説諭シテ全
 級唱フ間其拍子ヲ拍ツコトヲ命ズベシ是レ唱歌教授ニ於テ
 最モ緊要トスベキ一事ナリ然レモ此練習法ヲ用フルニハ務
 メテ簡易ナル教課ヲ使用スルヲ可トシ且ツ決シテ過分ニ拍
 子ヲ拍タシムル教授ヲ施スコト勿ルベシ蓋シ教師タル者ノ
 任トスル所ハ成ルベキ限リハ生徒ニ拍子ヲ拍タシムルコト
 ナクシテ自ラ其緩急ヲ會得セシメ而シテ教師ノ授クル所ノ
 教課ニ堪フヘキ精神力ヲ興發セシムルノ教授法ヲ施スヲ以
 テ主務トスルニ在レバナリ

第三十教

三部輪唱ノ教授法(ト)調ニ於ケル相當ノ教課ヲ黑板ニ記ス
 此授業ニ使用スル教課ハ幼稚生徒ヲシテ拍子ヲ拍ツコトヲ練習
 セシメントスル目的ニ出ヅルヲ以テ敢テ苦辛ヲ覺ユルモノニ非
 ズ故ニ其譜表モ亦輪唱ノ方法ニ據リテ專ラ拍子ニ注意セシムル
 爲ニ編成セシモノヲ用フルナリ是ニ於テ教師之ヲ教授セントス
 ルニ方リテハ先ツ休止符ヲ教ヘ而シテ後ニ拍子ヲ拍チ且ツ之ヲ
 數ヘシメ次ニ調名ニ依リテ更ニ拍チ且ツ唱ハシムベシ此時教師或
 ハ生徒ノ注意ヲシテ尙ホ確實ヲラシメント欲セバ特ニ拍子ヲ會
 得セシムベキ簡畧ノ練習ヲ施スベシ但シ其方法ノ如キハ黑板ニ記

載シ而シテ一拍子一聲ヅ、輪唱ノ法ニ依リテ之ヲ教フルヲ可トス

師問 此歌曲ノ首頭ニ附シタル記號ハ如何ン

生答 (嬰) (へ)ノ記號ナリ

師問 然ラハ何ノ調名ヲ以テ¹₁トスヘキゾ

生答 (ト)字ナリ

師問 此第一符ノ階名ハ如何ン

生答 ⁵₁ナリ

師問 其レハ何故ゾ

生答 (ト)字ヲ¹₁トスルガ故ナリ

師云 [其(ト)字ヲ指シテ]此(ト)字ヲ¹₁ト呼ビテ其音階ヲ上唱シ又

此(ト)字ヲ¹₁ト呼ビテ其音階五音ヲ下唱セヨ

師問 此歌曲ノ小節ハ何ノ種類ナリヤ

生答 四分ノ四拍子ヲ以テ成レル小節ナリ

師問 此輪唱ハ何ノ拍子ヨリ始ムベキゾ

生答 上拍ヨリスベシ

師問 此第一四分一部ノ休止ハ何ノ拍子トナルゾ

生答 右拍ナリ

師問 最尾ノ小節ニハ拍子幾個アリヤ而シテ四拍子ナキハ何故

ナリヤ

[凡ソ唱歌詞ヲ附スル前ニ其譜表ヲ會得セシメンガ爲ニハ上ノ方法ニ據ルカ或ハ之ニ類似セル教授法ヲ用フベシ]